

信 頼

西大和学園
育友会報



目 次

-
- 巻頭言「社会で輝く人となれ！」 育友会会長 山路晃誉…………… 1

 - 祝卒業特集(1)教職員から卒業生に「贈る言葉」…………… 2～12

 - PHOTO TOPICS 第34回 清榮祭「Uni-topia」…………… 13～16

 - ICT教育インタビュー…………… 17～19

 - 誌面版『会員の集い』学年部長より…………… 20～22

 - 祝卒業特集(2)保護者と卒業生の手紙…………… 23～26
高校3年生の保護者からの一筆啓上「愛する子どもたち」への短い手紙
高校3年生の一筆啓上「愛する家族」への短い手紙

 - 祝卒業特集(3)保護者と卒業生の手紙…………… 26～29
中学3年生の保護者からの一筆啓上「愛する子どもたち」への短い手紙
中学3年生の一筆啓上「愛する家族」への短い手紙
-

社会で輝く人となれ！

育友会会長

山路 晃誉



木の芽も芽吹き、ようやく春がそこまでやってきたかのような日々が訪れて参りました。この春に西大和学園中学校・高等学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様方におかれましては、日頃より育友会活動に深いご理解とお力添えを頂き、誠に有難うございます。本紙面をお借りし、感謝申し上げます。

さて、皆さんは、どのような学園生活を送られましたでしょうか？楽しいことばかりではなかったと思いますが、そのたびに自ら考え、友人に支えられ、先生方にご指導を頂きながら成長してこられたことと思います。学校は社会の縮図だとよく言われますが、まさにその通りで、これまでの学校生活の中で色々な経験をしてこられ、いよいよ本当の大きな社会へと巣立って行こうとしています。西大和学園の6年間、或いは3年間では、机上の学び以外の学びもたくさん経験してきた皆さんは、これからのステージへ向けての礎をしっかりと築いてこられました。文化祭や体育祭においては、学年の壁を越え、全校生徒が一丸となって行事を盛り上げてきました。他クラス、他学年の知り合いもたくさん増えたことで学校生活を豊かにしたのではないのでしょうか。先輩の指示を受け、必死についていった日々がつい最近のことの様ですが、高校2年生の時には運営上の最高学年としてしっかりとその役割を果たしていました。先輩を尊敬し頼りにする、後輩を大切に支える、そして仲間を信じ助け合う・・・そ

のような関係性を築くことは決して簡単なことではありませんが、とても大切なことです。また、アメリカのグローバル研修プログラムやアジアへの探究プログラムなどの国際行事を通じ、言語の習得だけでは得ることのできない国際感覚や異国文化に直接触れることもできました。その他スキー合宿や富士登山といった行事や、SGH・SSH・模擬国連・部活動など様々な課外活動においても多くのことを学びました。このような多くの学びや経験を、大学生活では形を変えた学びで成熟させ、将来様々な分野において活躍してくれることを願っています。

これまで皆さんは、先生方の手厚いご指導、保護者の皆様の温かいサポートを受けて快適に過ごしてこられました。自分を守り導いてくださった全ての人に感謝し、今後の人生を大切に生きていってほしいと思います。自覚と責任を持ち、自分を大切に人を大切に、多くの徳を積んでください。そして、これまで得た知識やスキルを自分の利益のためだけではなく、社会貢献のために活かしてくれることを期待しています。

最後になりましたが、子どもたちの成長を見守り、懸命にご指導頂きました先生方、学園生活をサポートして下さった職員の皆様には心より感謝を申し上げます。



コロナ禍の ニシヤマトスピリット

学園長
岡田 清弘

2020年4月、生徒が校舎からいなくなった。

ちょうど1年前、高校卒業式は何とか実施できたが、中学校の卒業式は中止。佐々木学年部長（当時中3）の何とも表現し難い表情が忘れられない。

入学式は新入生やその保護者の気持ちを考えて、参列者を制限、内容を精選しつつ、実施しようとした。ところが、「学校周辺地域に感染者が出た」との情報や、新入生を迎える中1、高1各学年部長も、「無理をして、何かあったら学年への信頼が失われた状態でのスタートとなる」という意見を聞き、延期を決定。しかも、「いつ実施する」という約束ができないうまま。

その後、遠足、体育祭、芸術鑑賞会等、ことごとく中止または延期。育友会、同窓会、振興会行事なども、とにかく人が集まる行事は延期とは言いつつも実質中止。先生方も半数以上が在宅勤務。会議もオンライン。西大和学園が普段どれほど、色々な取り組みをしていて、どれだけ多くの人に支えられているかが身に染みてわかった。

そんな中で、西大和学園の先生方の生徒への対応力が素晴らしくあった。そして早かった。「自分たちが責任を持たなければいけない生徒たちに空白の時間を作りたくない」と、動いた。それまで、あまり知られていなかったオンラインの会議システムがあるとわかったと、あつという間に、カリキュラムをほとんど壊さない授業システムを作り上げた。コロナ撃退体操なる体育の授業までやってのけた。キャリア教育もオンラインでやってしまった。「学年部長の“今日の一言”」という有難いホームルームも生まれた。オンライン上で自習室を開設し、がんばる生徒を常に画面オンにし、周りのやる気を生む“空気”まで作った。対面授業ができないからこそ、オンラインでしかできない仕掛けを作った。

管理職側からすると、各学年の工夫や先生方の取り組みは可視化できない。後に、保護者の皆さんや、学外の人たちから、“西大和学園スゴイ”“他校の保護者から羨ましがられています”という声を聞いて、そうだったのか、“やっぱり西大和学園の先生は凄いなあ”ということになった。多くの学校が2か月間、生徒を放置していたという事実も後でわかった。

さて、卒業生の皆さん卒業おめでとう。コロナ感染予防対策をしながらの受験勉強は大変だったと思う。一時期、制度改革の情報にも振り回された。サンプルは示されたが、初めての大学共通テストも不安だったと思う。色々な意味で先輩たちが経験していないことに向かっていったのだ。

そんな中で、西大和学園の先生たちは、君たちの頑張りを支える存在になれただろうか。「西大和学園で学んで良かった」と思ってもらえただろうか？

いずれにしても、西大和学園で学んだという自信と誇りを胸に世界に羽ばたいて欲しい。皆さんの大活躍を期待している。



『高い志を持って、 自らを磨き続けよ！』

高等学校校長
中岡 義久

ご卒業おめでとうございます。皆さんの門出を、心から祝福いたします。

さて、2020年初頭から蔓延した新型コロナウイルスによって、世界は大きなダメージを受けました。また同時に、世の中は予想を超えた急な変化を遂げています。デジタル化が一気に進み、本来数年先にくるべき変化が急激にやってきたと言われていています。デジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉が流行り、各業界ともデジタル化が進んだといえます。しかし成功している企業をみると、その多くはいち早く未来を見据えてネットに軸足を移していた企業やテレワークを実施していた先進企業です。このことから、どの業界も、未来を見据えて、素早く準備を進めておくことが大切であることがわかります。

今後の未来世界を考えると、このような大規模な変化は頻繁に起こることでしょう。そこで、皆さんは、どの道に進んだとしても、これからの変化に備えて最新テクノロジーの潮流をしっかりと学び、変化に対応し続けることが重要になってきます。インド独立の父、マハトマ・ガンジーの名言に、「明日死ぬかのように生き、永遠に生きるかのように学びなさい」があります。この短い言葉の中に、学び続けることの大切さが示唆された重みのある言葉です。ぜひ皆さんは、常に学び続け、自らを磨いて、新たなことにチャレンジして欲しいと思います。

また、特に大事なことですが、皆さんにはできるだけ高い志を持ってほしいと願っています。自分の人生は、概ね自分の抱いた志に比例する結果を生むと言われます。つまり、自分の人生は、抱いた志の範囲の中で何%実現できたかというようになっていくのです。小さな夢だったら、その夢の範囲内の人生ということになります。皆さんには若さという武器があります。若いということは無限の可能性があるのです。そこで皆さんには、できるだけ高い志を持って、豊かな人生を過ごして欲しいと思っています。

最後に、本日皆さんがこうして無事に卒業の日を迎えられるのは、常に変わらぬ愛情を注ぎ、皆さんを支えてこられた保護者の方々や、たくさんの友人たち、先生方、そしてさらには地域の方々の温かい支援があったことを忘れてはいけません。ぜひ今日の機会に、皆さんがこれまで受けてきたさまざまな恩に対して感謝の気持ちを持ってください。そして、あとに続く多くの後輩たちが、人生の先達として慕い、あこがれ、目標にする存在となるべく、自らの志の実現に全力を傾けてください。皆さんのこれからの人生に幸多かれと祈念しております。



人生に無駄なし

中学校校長

東 孝 信

中学校31期生、及び高等学校33期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

中学校卒業生の皆さんは、富士登山や文化祭、SSJ発表会など、様々なシーンで素晴らしい頑張りを発揮してくれました。アメリカグローバル研修プログラムは2020年「+1」の実施になります。楽しみが後に伸びたことで期待が膨らんでいることでしょう。コロナ禍が世界を席巻しても決して悪いことばかりではありません。先行きが見えないと嘆く人もいますが、今も世界中で新たな生活様式や生きる態様がどんどん生まれ、わくわくとささ感じます。皆さんは、社会の在り方が劇的に変わるSociety5.0時代のなかで、さらなる自らの将来を思い描いて自分らしい人生を実現するため高等学校でも大きく飛躍してくれるものと強く期待しています。

さて、皆さんは2020年7月23日に国立競技場に大きく「+1」の文字が浮かび上がったのを知っていますか？芝生の真真中でランタンをもって、今、自分がいちばん辛いはずなのに、辛い状態にある人や苦難と戦っている世界中の人々に呼びかけた人を覚えていますか？その人は競泳のアジア大会で6冠の金メダル獲得という偉業を成し遂げ、2020東京五輪での活躍を大きく期待されながらも、突然、2019年に白血病の宣告を受けました。治療中の406日間の闘いは、孤独で死ぬほど辛くて、わたしたちの想像を絶するものでした。髪もすべて抜け落ち、トップアスリートとして鍛え上げた身体も見ると影なく痩せ細りました。しかし、彼女は言います。

人生の中で、一夜にして別世界のように変わることがある。わたしにとっては生きていることが奇跡です。ここにいられることが奇跡です。

人と会うこと。外を歩くこと。そのすべてがこんなに愛おしく、こんなにも幸せだったなんて。病気の前は気づいてなかった。…中略…

1年後、オリンピックやパラリンピックができる世界になっていたらどんなにか素敵なことだろう。

アスリートたちはその未来を信じて、今この瞬間も、できるすべての努力をしている。どんなに小さな努力でもそれが無駄だとは決して思わない。…中略…

これからも感謝と尊敬を胸に前に進んでいこう。

わたしたちが生きるこれからの時代は、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められます。この池江璃花子さんの生きざまの中にお手本にするべき重要な要素があるのではないのでしょうか？



感謝

33期中等部学年部長

藤 岡 正 悟

自転車の後ろにつけていた子供用座席のことです。

うちの息子は中学生になりましたが、あの子が小さい頃は今のよういろいろな種類のおしゃれな子供用座席ってあまりありませんでした。金属製のカゴのような、簡単なものです。

息子が小学生になった時、もう、乗せることはないからと、その座席をはずしたんです。長く使っていたのでいたるところが錆び付き、ドライバーを使ってもなかなかはずれない。必死になってはずしながら息をついたとき、急に涙が溢れてきました。

私は車の運転が出来ないので、息子とどこかに行く時にはいつでもこの自転車と一緒にでした。具合が悪くて小児科に行く時、寒くないようにバスタオルで息子をくるんでここに乗せたな、幼稚園バスに乗ると気持ちが悪くなるからと、毎日二人で歌を歌いながら幼稚園に向かったな、春は桜を見上げながら、夏は汗びしょりになって、冬はだるまさんのようにモコモコにさせて、いつも二人、この自転車と一緒にだったな……。

「ママ、あのね……」

「ママ、おなかすいた」

背中から、いつも息子の声がありました。毎日何気なく、当たり前のようしていたことがもうできないんだ、と思ったら涙が止まらなくなりました。

早く大きくなればいいのに、

何でも一人でできるようになればいいのに、

早く自分の時間がほしい、

早く……。

ずっとそう思っていたはずなのに、本当に寂しかった。今はどんなに望んでも、あの頃に戻ることは出来ません。錆び付いたカゴがとても愛しいものに見えました。

長い間、ありがとう。これからもママがんばるよ。

そう言ってさよならしました。

ふと目にした、web上に載っていたこの文章がなぜか心に残りました。君たちの卒業にあたり、これをそのまま贈りたいと思います。

君たちはもう何でも一人でできるようになったかもしれない。でも、君たちをここまで育て見守り続けてこれたご家族は、これからもきっとそばで支えてくれることでしょう。だからこそ、悩んだり、立ち止まってしまったら、いつでも甘えていい。私はそう思います。

ご卒業おめでとうございます。そして、ようこそ！社会人の入口へ。



10人中2人

高校3年1組担任
早川 隆文

6年間、国語の授業のたびに「10人中8人」という話をしてきた。それこそが国語の求めるものであり、「優しさ」である。実際、それで国語の点数は上がるし、「優しさ」が大切なのは国語に限らず、言うまでもないことだ。それは僕らのアタリマエだった。

でも、ここから先はそれがアタリマエとは限らない。学校なんて幻想（ファンタジー）だ。社会を変革するのは「10人中2人」の中にある。「優しさ」だけを持った人物が、必ずしも社会で大成できないのは悲しい現実だ。

もちろん、学校生活のすべてを幻想だと否定するつもりもない。いわば、これまでの生活は「基本問題」だった。これからの生活はさしずめ「応用問題」「発展問題」か。今まで習得した技法や知識は常識として作用し、時にそれが使えない（あるいは、使い方がわからない）例外的な出題がなされる。「そんな誰が気づくねん！」という問題もあるかもしれない。

6年間ありがとう。次のステージでも頑張っただね。でも油断しちゃダメ。そこは「10人中2人」に大きな評価が与えられるステージかもしれないから。

ちなみに、早川は「10人中8人」の重みを知っている「2人」こそが大成すべきだと思っています。



食われるなよ！

高校3年3組担任
吹田 航一

33期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日をもって、この西大和学園はあなたの母校となりました。皆さんの目には何が映っていますか。18年間支えてくれたご家族の笑顔や、学園でめぐりあえたかけがえのない友人の嬉し泣き、長い時間を過ごしたけれども今は荷物ひとつない教室。そして、目の前に広がるまだ見ぬ世界に期待を膨らませていることでしょう。

一方で不安を感じている方もいるでしょう。皆さんはこれから社会に飛び出します。これまで常識だと思っていたことが、全くの非常識だと気付くこともあるかもしれません。自分の価値観が、世界や時代の流れに沿っているのかわからなくなって落ち着かないこともあるでしょう。反りが合わない人と出会うこともあります。思いがけず人生のターニングポイントがやってくることでしょう。

でも、自分の幹を曲げず、根を枯らさない限り、大丈夫！ 気付いたときには出口の光が見えているものです。これから訪れる不安要素は全て、所詮は枝先の葉を揺らせる風でしかないのです。皆さんは6年間の学園生活で、幹を太くし、深い根を張り巡らせてきました。心配はいりません。だから、いいですか？ 食われるなよ！



Ⅱ総括 ～明日からはおまかせ～

高校3年2組担任
井上 大輝

寺島源太先生、守長和人先生、田口順一先生、北畑徳太先生、仲神典子先生、佐圓茉莉子先生、丸谷貴紀先生、島末智明先生、徳田光昭先生、そして今年度は私を除くすべての英語科の先生方があなたに手を差し伸べてくれました。多くの人たちに支えられてここまでできました。門出にあたり、感謝を今一度胸に刻むとともに、今度はあなたが誰かを支える番です。

目の前に現れる「点」で眺めると辛く思えることも、「線」として眺めれば、必要なことばかり。強さは誰かに自分の「正しさ」を押し付けるための道具ではなく、声なきSOSに気づき、そっと手を差し伸べることのできる優しさのこと。生き様のステキな大人になられることを祈念しております。

最後に、6年前に中学1年1組担任を拝命して以来、関係各位に多大なるご迷惑をおかけしてきたことを、お詫びすると共に、ここまで関わらせていただいたことに御礼申し上げます。あなたが去った日々のなかで、その存在の尊さ、大きさを痛感するのでしょうか。

出会いに感謝。新しいご縁に向けて、さようなら。そして、井上チルドレン 全ての子供達におめでとう。





大器ハ晩成ス

高校3年4組担任

森山 貴 公

皆さん、卒業おめでとうございます。
「大器晩成」という諺は、“大きな器は、ちょっとやそつとでは作れず、普通の物より遅れて出来上がる”という意からきていることはご存知でしょう。

そこで孔子の言葉を贈ります。

「君子に九思あり。視るは明（めい）を思ひ、聴くは聰（そう）を思ひ、色は温を思ひ、貌は恭を思ひ、言は忠を思ひ、疑はしきは問ふを思ひ、忿（いかに）りには難を思ひ、得るを見ては義を思ふ。」

「大器」となるための心がけ九箇条

- 一、視覚においては明敏であること
- 一、聴覚においては鋭敏であること
- 一、表情においては温か味があること
- 一、態度においては誠実であること
- 一、発言においては忠実であること
- 一、行動においては慎重であること
- 一、疑問に接しては探求心を持つこと
- 一、感情に駆られて迷惑をかけぬこと
- 一、利に直面して義も忘れぬこと

古典を学ぶことって意味あるよね！
バランスのとれた「君子」になってください。



卒業にあたって

高校3年1組副担任

徳田 重 則

33期の皆さんご卒業おめでとうございます。
従来の常識が成り立たず、進路選択もその後の生活設計もとても難しい時代。

そんな中、これから新しい生活が始まります。

「こういうものだから…」「皆がそうしているから…」「めんどくさいから…」という言葉で片づけるのではなく、既存の物事に対して「不思議を感じる気持ちや感性」をいつまでも忘れないでいてもらいたいと思います。

大事なものはチャレンジ精神。

自分の目標に向かって常にチャレンジする気持ちが大切です。是非、皆さんにしかできない仕事、スキルを身につけて社会に貢献していただけたらと思います。

人生は安定を求め、チャレンジすることをやめると途端に微分係数は負に働き、単調減少します。

何か目標を立て、そこに向けて常に挑戦を続け、やっとな現状維持できる程度です。

けれども、これからの皆さんには若さと柔軟な発想があります。たとえ失敗したって、それは人生においてきっと立派な肥やしとなるはずで。

登山に例えるなら目標はあくまでも山頂ですが、山頂にたどり着くルートはいっぱいあるし、早く着いたからといって成功であるとは限らないのです。

是非、これから始まる『人生』という山登りを楽しんでもらえたらと思います。

最後になりましたが、『卒業』は人生において1つの大きな節目です。ここまで大きく育ててくださった保護者の皆さんに『感謝』の意を伝えて高校生活を締めくくりましょう。



スタートライン

高校3年5組担任

譜久村 俊 二

33期の皆様、卒業おめでとうございます。
長いようで短く、短いようで長い6年間でした。色々濃密な日々を過ごすことができたと思います。

皆さんにとってここがスタートラインです。もう「世の中」に出ていくことになります。社会の一員です。高校生活の中で身につけた、「周囲を観察する力」「周りと協力して何かを成し遂げる力」「他人のこと理解する力」などたくさんさんの力をフル活用して、自分自身の人生を切り拓いていってください。

自分が本気でやりたいと思えることを探していくことになります。これから様々な経験をしていく中で、壁にぶつかってしまうこともあるでしょう。真正面から戦う姿勢で臨んでください。そして、君たち自身が納得のいく選択を自らの意思で決めていってください。そうすれば、必ず道は拓けます。明るい未来が待っているでしょう。

縁があって、君たちと6年間過ごすことができたことに感謝します。

そして、これから先もこの縁を大事にしていきたいと思えます。よろしくお祈りします。



これから

高校3年2組副担任

大西 哲 男

33期生の皆さん。卒業おめでとうございます。君たちは、これまでいくつかの試練を乗り越えて卒業を迎えたわけですが、それは周りの人(親、先生、友人など)に支えられて乗り越えてきたわけです。次に迎える試練は自分の力量のみで乗り越えなければなりません。人生全体のうち親や先生の庇護下で学生をしている時間は4分の1ぐらいでしょうか。残りの人生は自分の力で切り開いていかないとなりません。学生というのは半人前だという前提で周りの人が対応してくれますが、社会に出たらいきなり一人前の扱いはされるわけです。そして使えない人間はそこで仕事を続けていくことができなくなります。仕事において重要なことは「一歩踏み出す勇氣」、「行き詰まっても臨機応変に対応する柔軟さ」、「最後までやり切る精神力」です。受験も同じじゃないですか？そして、受験という試練を通して身に染みてわかったと思うのですが、今の自分の能力はすべて過去の自分の努力に立脚しているものだという事です。これから社会に出るまでの間の学生生活で、自分が一生かけてやっていこうと思うことを見つけ、それを実行する能力を磨きましょう。君たちならできます。



自覚・責任・夢

高校3年3組副担任
林 勲 育

卒業していく君たちへ一言送らせてもらいます。5年間、様々な経験をさせてもらい、充実した時間を本当にありがとうございました。アメリカやインド、富士山(2回も)も大きな経験でしたが、何より学校で送る当たり前の毎日が、何より私の財産です。

そして、最後に君たちをしっかり伝えたいことを書き記したいと思います。これからは、「自覚」と「責任」をしっかり持ちなさい。高校1年の時に「高校生としての自覚と責任」の話しだと思います。これからは、

- 「大人としての自覚と責任」
- 「社会人としての自覚と責任」
- 「親としての自覚と責任」

様々な、状況や立場の自覚と責任を常に持って、それぞれの世界で活躍をしてください。いつまでも応援しています。

社会に出ると、仕事や子育てが忙しく人は「夢」を見失いやすくなります。いかなる時も、「夢」を持ち続けなさい。もし見失ったときは、少し立ち止まり、卒業アルバムやここに書かれているたくさんの先生方の言葉を読みなさい。きっと大きな力になります。

これからの次代を担っていく君たちを応援しています。がんばれ、西大和学園33期生!!



Impossible is nothing!

4・5組 副担任
徳 田 光 昭

コロナ禍、マスクで顔が半分隠れたまま、諸君の言動からイメージを膨らませていました。顔は見えなくても、諸君の瞳から、未来を切り拓く熱意が感じ取れました。

「なりたい自分に妥協してはいけません、夢は追うものではなく叶えるものです」

人はいくら外見を着飾っても、内面からにじみ出てくる輝きや魅力には勝てないものです。人格を高め、感性を磨き、教養を身につけましょう。そして、西大和学園を訪れて下さい。マスクなしの姿を楽しみに待っています。卒業おめでとう。そしてありがとうございます。



【夢に一步近づいたよ】
～感謝。絆。挑戦。
とことん!～

33期高等部高3学年部長
喜 多 薫 平

皆さんの夢は何ですか? 大学合格や、仕事(就職)は、夢(目的)にはなり得ません。それらは、夢(目的)を実現するための「手段(方法)」です。ですから、これからの人生こそが腕の見せ所なのです。

皆さんが入学したときの印象は、大人や先生に気を遣い、努力を重ね、型を大切に(「守」の出来る)利口な集団でした。高校の3年間、我々は、その型に納まらず、各自の「手段(方法)」の種類や幅を広げる「挑戦」(いわゆる「破」)する姿勢を常に意識して、一人一人の10年後20年後の可能性を最大限に広げることが軸に皆さんと関わってきました。(過保護な面もあったかもしれませんが、それは甘やかしではなく、愛情の裏返しであったとして許してください。)数々の企画・行事・授業・経験によって、15歳の君たちが持っていなかった視野や考え方を、少しでも西大和で身につけることはできましたか?

大学以降は、見つからない答えを能動的に探す、答えのないものに向き合う(「離」の)旅です。その中で、これから君たちが経験する「失敗」は、挑戦するからこそできるかけがえのないものですから、恐れることなく、どんな事にも前向きにワクワクドキドキの毎日を過ごしてください。そして、時に、世の中にはどうしても動かない岩、思い通りにならないことがあります。君たちをもってしてなら、動けるものを「創る・生み出す」こともできるはずですよ。「とことん!」挑戦してください。挑戦するときに大切にしてほしい「正しさ」は、皆さん一人一人の中に脈々と育まれています。少数派でも貫くべき正しさはあります。周囲から「変人」と思われようが、それは変態でも変な奴でもない、変われる人・世の中を「変える」人だと思えます。大多数がしていない、考えも及ばなかったこと、真似できないことを行動に移すからこそ、その人は、周囲から活躍を待ち望まれる「レア」な人になれるのかもしれませんが。周囲の目を気にして、人から立派だと「思われる」人を目指すではありません、真に「立派な人」になってください。

この3年間の西大和学園生活で、

確かに「夢に一步近づいたよ」、間違いのない!大丈夫!

感謝 ～ありがとう～

絆 ～いつも愛を込めて～

挑戦 ～とにかくワクワクやってみよ～

私の夢(目的)は「世界人類の笑顔」です。そのために教師という職を「手段(方法)」として選びました。

私の大切な家族である皆さんが、近い将来、世界や日本の大切な人財として各々の力を注ぎ躍動することで、笑顔の輪を世界に広げてくれると信じています。

そんな思いを皆さんに託します。

この3年間、教師として本当に幸せな時間を過ごす事が出来ました、毎日の生きがいがありました。

そして、これから卒業してからの君たちの将来を想うと、楽しみも出来ました、ありがとうございます。

また、会おう!! 卒業おめでとう!!

最後に・・・「とことん!!」





超一流への道

高校3年A組担任

丸谷 貴紀

卒業おめでとう。これから大学生・社会人へと歩いていく君たちへ。「学びとは単なる知識の増加でない」ということは、受験生を通して実感したことでしょうし、同時に知識の重要性にも思い知らされたことでしょう。学習(受験)を通じて知り始めたことは、きっとこれから凄く必要なことです。学ぶということ、それは、「見抜く力」と「視点を変える力」だと私は考えています。学力を高め、知識と理解力を高めた、もしくはこれからの高等教育と社会人経験でそれらをさらに高める君たちは、いつしか社会的にも然るべき地位に行きます。受験勉強は究極の自己中心的活動だと言ってきましたが、それによって培われた力は、今度は世のために活用するようになっていきます。これからますます「見抜く力」と「視点を変える力」を鍛えていってください。それらをはき違えた二流は「見切る力」と「論点を変える力」を振りかざす存在になってしまいます。

受験勉強を通じて知ったはず。物事の本質を見抜く力が大事だと。そして、周りから見たらそこまで辛いことではないことでも、当事者はきちんと辛い思いをしているということ。それを知って行動できる人は一流!

最後に、失敗はしていい。「失敗を恐れず行動できる人」であれば、あなたの将来は明るく、そういうあなたは、超一流!そして、失敗を許せる社会になれば、日本の未来は超明るい!



矛盾を愛する

高校3年B組担任

富高雄介

「簡単そうに見えてややこしく、困難そうに思えてたやすい」これは僕の敬愛するバンドであるMr. Childrenの『ラララ』という曲の一節です。思い悩んだ時、心が折れそうになった時、僕はいつもこの言葉を思い出します。皆さんはこれから先、きっと多くの困難や試練に直面することでしょう。そこで大事なことはまず一歩踏み出してみることです。失敗することがあるかもしれませんが。しかし、そこから結果と改善点が得られ、自分の中にまた新たな景色が開けてきます。人生は一度きり!長いようで短い!自分で自分に限界というラインを引かないように。また、世の中では当たり前といわれるものほど、その仕組みを説明するのは難しいものです。「簡単そうに見えてややこしい」こととは何でしょうか?僕は「生きる」ということだと思っています。それは息を吸って吐いての繰返しだけではありません。それは自分以外の他者との関わりあいです。複雑に絡みあい、時には摩擦が生じます。でも、ややこしいからこそ、答えが一つではないからこそ生きるということは面白い。それを追求し、追究していってください。皆さんにとってこれから先の人生が彩り多いものであることを祈っています。卒業おめでとう!!



優しさとありがとうを 力に変えて

高校3年C組担任

小西 雅也

人から言われるがまま動くのは僕の性に合わないもので、中等部のみんなには中1の間(と高2からちょっとだけ)、高等部のみんなは2年間、自分がどうしたいのかを大切にしてほしいと思い、関わってきました。C組のHRや授業中はワイガヤするし、中等部が中1のとき授業中に大音量でツッコミが入るから、うるさすぎて井上先生が怪訝な顔で教室を覗きに来たこともありました。でも大事な話のときや、難しい内容を考える場面では凄まじい集中力を発揮していましたね(これはなかなかできないことですよ!)。僕が6年間教師生活を続けられたのは、紛れもなく、みんなのおかげです。ありがとう。学年部教員の中で(僕が自分を曲げないから)孤立したときも、チューターだったときに寮で小さい事件が起こったときも、最後に笑顔で励ましてくれたのは高等部、中等部のみんな、特に中1-4、寮生、H2-C、H3-Cのみんなでした。みんなの優しさに触れ、日本の将来を担う大切なみんなのためなら、それこそプライベートがなくなろうとなんでもしたいと思いました。バレー部では選手の誰よりも声を出して練習し、文化祭では石膏で固められ、スキーでは転がりまくっているのを佐々木先生に鼻で突かれて、なんやかんや、いっぱいありました。自分の教員人生の礎をみんなが築いてくれました。高校生の頃、先生になるからには、東大に行きたいと思う子がいたときに、東大や学問をよく知っている人でありたいと僕は思いました。少しはみんなの力になれたかなあ。もう気軽に会えないと思うと、原稿を書きながら泣いてしまっているけれど、自分が東大では学べなかった、みんなから学んだことを、さらに力に変えて生きていきます。ほんとにありがとう。





楽しいは創れる

高校3年D組担任

植田 愛

私が好きな元素のひとつに炭素があります。黒鉛とダイヤモンドは互いに炭素の同素体であり、黒鉛は鉛筆の芯として人の役に立ち、ダイヤモンドは宝石として人に笑顔をもたらすことができます。同じ炭素であっても、互いに全く違う性質をもち、それぞれがそれぞれの個性を生かして役割を果たしているところが素敵だと感じます。

京都の龍安寺には、「吾唯足知（吾唯唯だ足るを知る）」とかれた蹲踞(つくばい)があります。「吾唯足知」とは、満足することを知る人間は貧しくても幸せであり、満足すること知らない人間はたとえお金持ちであっても不幸であるという意味だそうです。環境が変わることや友人の考え方が変わることを期待し、不平不満を言いたくなる時もありますが、今ある環境に対して自分自身の考え方や捉え方を変えて、未来の自分が「楽しかった、幸せだった」と思える今を創ることの方が容易です。

これから生きていく中で、決して楽な道ばかりではないと思います。困難に直面したときこそ、自分自身の考え方を変えてみると新しい視点を得られるかもしれません。君たちは、同じ西大和生でも一人一人がそれぞれの個性を生かして活躍する素敵な存在です。自分のことを大切にして、楽しいと思える今を創り続けてください。卒業おめでとう。



ありがとう。またね。

高校3年A組副担任

三ヶ田 信介

ご卒業おめでとうございます。皆さんとお会いしたのは、私に関西に来てすぐの頃でした。関西の文化に慣れることができるのか不安でいっぱいの中、皆さんが助けてくれました。本当に感謝しています。世界史は多面的に世界を見ていきます。世界は一面だけ見えていても本質は分からないですね。人間も同じかなと思っています。理解できているようで理解できていない。皆さんのことを理解した、なんて言うつもりはありません。でもある一面は理解しようと思いました。それが上手くいったりいかなかったり。毎日、皆さんのことを考え、こうすれば良かったかな、こう言えば良かったかな、その繰り返しでした。確かなことは、皆さんと過ごした時間はとても貴重で私の宝物であるということです。まだまだ皆は様々な面を持っているでしょう？それはまた卒業して機会があれば見せて下さい。もし皆さんがこの先、何かしんどいことがあったり、楽しいことがあったり、そんなことなんて何もなくても、話したくなったりしたらいつでも連絡して下さい。私は良くも悪くもずっと変わりません。話すことより聞くことの方が好きですし、大人数で騒ぐよりも少人数でゆっくり過ごしたい。何かに迎合することも、思ってもいないことを口に出して相手を喜ばせるのも苦手です。とても不器用です。ですので、いつでも連絡して下さい、というも建前ではなく、本音です。またどこかでお会いしましょう。



人生の選択

高校3年B組D組副担任

藤原 舞香

卒業おめでとうございます。

西大和学園で過ごした3年間はどうか？私は1年間、皆さんと一緒に過ごし毎日楽しい日々を過ごさせてもらいました。ありがとう。

皆さんは、受験という大きな選択を経験しました。これからは多くの選択をしなければならぬ場面が来ると思います。そういう場面に立たされた時、私が大事にしていることは、自分の直感を信じることです。どうしたらいいか分からず考え込んでしまうと、その沼に入ってしまうなかなか抜け出せなくなります。何かを選択しなければならぬ時、拳がっている選択肢をみた瞬間自分が何を感じたのか、その感情を是非大切に、自分を信じてあげてください。納得のいく選択をする手助けをしてくれると思います。

これからそれぞれの道に進みます。新しいことを始めようとしている人や、やりたいことが見つかりそれを追いかける人、今までやってきたことをさらに極めようとしている人。それぞれの決めた道で人生を楽しんでください。皆さんのさらなる活躍を期待しています。





出会いに感謝

高校3年C組副担任
岩谷 早優

西大和学園生活はどうでしたか？

私は、養護教諭として33期学年部に所属し、みんなと3年間共に過ごし、みんなと出会えたことにとても感謝しています。

これからたくさんの人と出会う君たち。

関わる全ての人を大切に、想いを伝える事も忘れず過ごしてください。

そして、西大和学園で出会った仲間ともなにかの縁です。

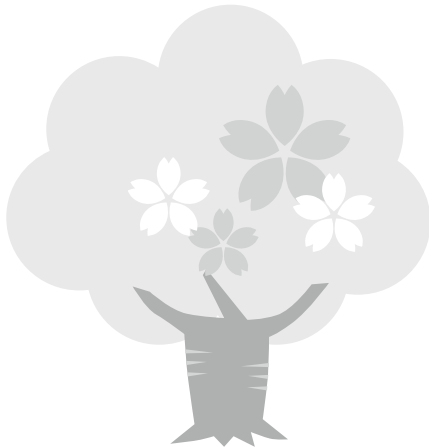
遠く離れてしまっても、時には連絡を取り合い、大切にしてください。

2020年から始まった「リモート飲み会」とやらでも開いて…。

(※未成年の間はジュース!!!お茶!!!牛乳!!!)

これからのみんなの活躍を心から応援しています！

しんどい時こそ笑顔で！セロトニンを分泌してハッピー野郎全開だ～！！！！



次世代のリーダー達へ

中学3年学年部長
荻原 琢磨

常々思っていることがある。それは「勉強だけできる人間になってほしくない」ということである。人の弱さも感じ取れる、他人が困っているときには手を差し伸べる、心優しい人間になってほしいと心の底からそう思っている。この欄を借りて、少しでも早くこの世に生を受けた人生の先輩として君たちに私の想いを伝えたい。

西大和学園は「次世代のリーダーを育成」するために、様々な教育活動を行っている。勉強だけでなく、自分の知らない新しい世界を見ることで視野を広げ、学ぶ大切さ、多様な価値観の存在を理解する。そもそもそこにある「リーダー」という言葉を正確に理解している者は多くない。将来の夢や日々の会話でその人がどのような人生を歩もうとしているのか、リーダーの資格を有しているのかを判断することができる。リーダーに持ってほしい考え方は、

「自分の持っている能力を他人のために使う。」

「この世の中を少しでも良くする行動を行う。」

まずは自分の能力を最大限伸ばすためにも、日々の学習、クラブ活動を精一杯手を抜かず頑張ってもらいたい。そして自分中心に物事を考えるのではなく、他人の人生も豊かにする行動をとってもらいたい。社会に出て今年で20年、実際に仕事を経験してわかったことがある。仕事は単にお金を稼ぐだけでなく、自分の周りの人を笑顔にできたときが一番幸せであり、やりがいを感じるということだ。ではその最高の瞬間を得るために日々実践することは何か。もうお分かりだろう。

5つの「あ」

- ・挨拶をする。
- ・ありがとうをいう。
- ・謝る。
- ・頭を下げる(お願いする、助けてもらう)
- ・新しいことにチャレンジする。

仕事をする上で周りの人との協力は不可欠である。物事を前に進め、成功するためには自分自身の成長はもちろん、周りの人の手助けが絶対に必要だ。「自分さえよければいい」なんていう考えで物事を進めるとうまくいくことはない。神様は全部お見通しなのである。人と人が一緒に仕事をするとき摩擦が生じるのは、物体同士の間で摩擦力がはたらくのと同じ。5つの「あ」はそんな人間関係を上手にする潤滑油である。その潤滑油を小学生の時に教えてもらっているはずだが、なぜか大人になると忘れ、仕事がかまうまいかと思える。仕事の本質は、突き詰めれば「人間理解」に行きつくことを理解していないからである。君たちが社会に出た時、そのような失敗はできるだけしてほしくないと思っている。

世界を変える「次世代のリーダー」は目の前の勉強だけでなく、もっと大きな視点で物事を見てほしい。新しい世界を自分の目で見て、自分が知っている世界は全然小さいんだということに早めに気づいてほしい。そのためにも高校に進学したら、思い切って新しいことにチャレンジしてほしい。失敗しても全然いいじゃないか。「何もしないことが一番の失敗」なのだから。卒業、おめでとう。



出会いは縁

中学3年1組担任
西村 一真

「出会いは縁」だと思う。ビッグバン以来ちりぢりになった粒子が一つの星にまとまることなんてあり得ないと感じる。それなのに実際に同じ星に存在すること、その星で同一座標に存在すること、さらに会話にせよ居合わせたにせよ一緒に居ること。そういったことを粒子の集束とみて確率を考えてみても恐ろしいことだと思う。ましてや同じ学校で知己を得るなんて、どんな宝物よりも貴い。

僕には、自分の人生を作ってくれた人がいる。教師になることを志すきっかけをくれた高校時代の恩師、自分の人生観を形成してくれた大学院時代の師匠、いつも悩みを聞いてくれる中学時代からの友人…。

もちろん君たちもそう。僕が教師になって初めて接したのが君たち。教師としての僕を作ってくれたのは間違いなく君たちだ。

君たちも、西大和に入って多くの人に会ってきただろう。そしてこれからも新しく多くの人に会おうだろう。その時は、「出会いは縁」だといつも思っていてほしい。僕らが会おうのは不思議としか言いようがないが、社会に生きるヒトであるかぎり、「縁」を大切にしてほしい。

卒業おめでとう。これからも精一杯生きてほしい。



波風無くして 大航海無し

中学3年2組担任
浮世 博史

中学生のときは、言わば、池や河川、湖で舟を浮かべていたようなもの。それはあたかも遊覧みたいなものでした。

そして高校生ときは、ようやく大きな船を浮かべ、沿岸航海から近海への航海へ。周辺の離島への航海でした。沿岸の灯台を目印にすれば迷うこともないし、天気予報や気象情報はすぐに手に入りました。座礁しても沿岸警備隊がすぐに助けてくれる…

しかし、ついに遠洋航海に乗り出すときがきました。

それはあたかも、コロンブスやヴァスコ=ダ=ガマが、未踏の地を求めて支援を受けて準備を整え、船出したのとまったく同じ。

航海にいったん出れば、海図も無く、支援も届かず、そもそも陸地もまったく見えない…

大きな波、激しい嵐、あなたをむかえるのは真っ青な空と満点の星々だけではないのです。

が、しかし、波風無くして、大航海はありません。大きく帆を張り、波濤を乗り越えて、気を奮い、未踏の地をもとめて進んでください。

そんなとき、思い出してほしいのは母校のこと。母校は母港なのです。あなたを支える寄港地です。いつでもまた、あなたを迎え入れたいと思っています。



中学卒業式とは

中学3年3組担任
乾 弘 樹

中高一貫校における中学卒業式とは、どのような意味合いがあるのでしょうか。

卒業式の1~2週間後には同じ学校へ登校し、同じ仲間がいて、同じ先生たちの元で学習を再開する。そんな「特に変わりのない春」を迎えるような気がしていませんか。クラブ活動も既に高校の部活動に参加している者が多いし、大きく変わることといえば制服くらいです。

私は12年前、「特に変わりのない春」を迎えた1人です。私の場合は元々制服すらありませんでしたし、入学式の初日から高校の部活がありましたので、特に「特に変わりのない春」だった覚えがあります。この「特に変わりのない春」を迎えてしまったことを今になって少し残念に思うことがあります。

人間は「節目」に何を考えるか、感じるかで大きく変化できます。ただ、この「節目」には自分の中での「きっかけ」が必要です。

中学の卒業式は「節目」だと思います。それは「きっかけ」の最大要因である「環境の変化」に伴うからです。今日で中学の制服と、見慣れた中学棟の昇降口とサヨナラするわけです。これは立派な「環境の変化」、「きっかけ」ではないでしょうか。さて、この文章には字数制限があるので、私なりの卒業式の意味合いを述べることはできません。というわけで、次の問いに答えよ。

問 中学卒業式の意味合いを中学3年間の自分を顧みながら述べよ。

この答えが新しい自分の始まりです。そんな新しい君との出会いに、おめでとう。





人生の幸せ

中学3年4組担任
仲神典子

ご卒業おめでとうございます。3年間、担任をさせていただきありがとうございました。みなさんと会えたのも、みなさん同士が会えたのも、何かの縁だと思います。縁、というのは奇妙なもので自分がつなぎたいと思えば思うほど、長く細く続いていくものです。日々、私たちは、さまざまな人たちにお世話になり、助け合って生きています。ただ誰かのためにする「善意」は時によっては相手の求める「善意」とは異なり、衝突すら生むことがあります。それぞれが「正しい」と思うことが違っていることだってあります。人には、それぞれの「役割」があり、その役割は、生まれたときから割り振られているものもあれば、自分で獲得できるものもあります。ぜひ、今まで自分が出会った縁を大事にし、自分の価値観が全てではないことを真に理解し、自分も他人も幸せにできる人になってください。幸せとは、人生の一瞬ではなく、常に自分の目の先にあるものだと思います。

再度になりますが、ご卒業される皆様全員へ。学年部に所属して、みなさんと一緒に成長できたこと心から感謝しております。ありがとうございました。



Fly High!

中学3年5組担任
守長和人

登山の目標は山頂だ。
マラソンのゴールはテープを切る瞬間だ。
大学受験のゴールはやっぱり志望校に受かることだろうか。
でも、人生の面白さや楽しさは、山頂やゴールにのみ見出せるものではなく、逆境の中腹にあったりする。

山頂へ行くまでの道のりは何通りもある。
途中で休憩してもいい。
景色を楽しみながらゆっくり歩いてもいい。
友だちとピクニックしながら頂上を目指すのもアリ。
雨が降ってきたら途中で引き返して、また来週挑戦してもいい。
そして、それらの選択のうちどれが正解ということもない。
これって実は人生においても同じなんじゃないか。
大いに道中を楽しもう。

今、コロナ禍で大変な時期にある。
しかし、将来これ以上大変なことが起こらないということを約束してくれているわけではない。
これから先も何が起こるか分からないのだから。
ただ、苦しいことはばかりではないはず。
生活におけるすべてのことに楽しさを見出そう。
そしてなにより、心身ともに健康、これがあなたの未来を素敵に形作ってくれる。

西大和学園で過ごす中出会った、楽しかったこと、悲しかったこと、苦しかったこと、悔しかったこと、悩んだこと、おもしろかったこと、いろいろな感情、思い出を胸にして、新しい世界へ羽ばたいていってください。
卒業おめでとうございます。



よく遊び よく学び よく笑え

中学3年1組・3組副担任
浪指和紘

中学卒業生の皆さん、並びにご家族・ご関係の皆様方、卒業おめでとうございます。

中学3年間はいかがでしたか？充実した3年間だったでしょうか？

題名のフレーズは1組と3組の教室の鍵札に私が書いた言葉です。「遊び」と「学び」は対極にあるように思われることもありますが、個人的には似たものであると考えています。どちらも中途半端では楽しくなく、突き詰めることで深みがわかり、より没頭することができるものです。そして、それを実践した人にしか見ることができない景色がそこにあります。学校の勉強でも、クラブでも、趣味でも何でもいい。一人でも多くの人にその経験を積んでほしいと願い、またこれからもそうであってほしいと思っています。中学3年間で得たことを糧にして、高校でも「あたらしいことにチャレンジ」してください。改めて卒業おめでとう。次のステージでの更なる飛躍を期待しています。





当たり前の 有り難さ

中学3年2組副担任
安井宏伸

中1の時と比べると、身体も大きくなって、会話の受け答えもしっかりしましたね。この3年間、いろいろな場面で、自分の成長を感じることができた瞬間があったと思います。まずは、その成長を素直に喜んでください。自分で自分の成長を認めてあげることは大事です。ただ、その成長は、あなただけの力で成しえたものではないことを忘れないでください。あなたの成長は、ご家族や友人を始めとした、周りの環境のおかげでもあるのです。だからこそ、自分の力を周りのために使ってください。

普段、自分一人で生きているような気持ちになっていませんか。感謝の気持ちを持って、周りに接することができていますか。恥ずかしながら言う言っている私自身も、皆さんぐらいの年齢の時には、周りへの感謝など一切意識できていませんでした。でも、「意識できていない」環境にいること自体が、幸せなことなのかもしれません。恵まれているのです。

些細なことで構いません。ちょっとした気遣いや思いやりをもって行動してみましょう。周りに支えられていることに気付いたら、今度は自分が周りを支えられるようになるはずですよ。長いようであつという間の3年間でした。ご卒業おめでとうございます。



悔しさをバネに、 何度も挑戦。

中学3年4組副担任
柵木達博

中学卒業生の皆さん、並びにご家族・ご関係の皆様方、卒業おめでとうございます。

この中学3年間は どうでしたか？ 充実した3年間だったでしょうか？ 中学3年間を通して何を学ぶことができたでしょうか？

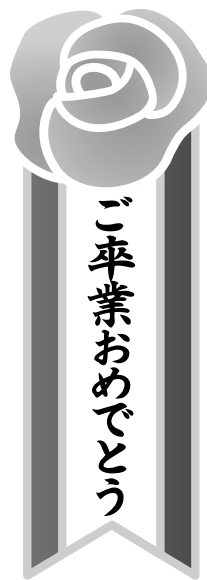
私から卒業する皆さんに伝えたいのは、「挑戦することを忘れない」という事です。この2年間皆さんを見てきて、色々な事に挑戦しましたね。諦めそうになった事も沢山あったと思います。しかし、挑戦することをやめてしまうと成長は止まります。これから先、もっと沢山の困難や壁が皆さんの前に立ちはだかります。嫌な事も逃げ出したいくなる事も沢山できます。その時、すぐに諦めるのではなく、その困難や壁を楽しみ、そして挑戦していきましょう。皆さんの周りには、その挑戦を応援・サポートしてくれる人が沢山います。その方達に感謝し、今までの自分よりさらに成長できるよう、全力でチャレンジしてください。人生はまだまだこれからです。日常生活で例えると、まだ玄関で靴ひもを結んでいる段階です。挑戦を忘れず、人生の玄関を思いきり飛び出していきましょう。



Be positive!

中学3年5組副担任
伊藤綾香

中学卒業おめでとうございます。3年間あつという間に終わったのではないのでしょうか？ この中学3年間どのように過ごしてきましたか？ 積極的にやりたいことをやった毎日でしたか？ 無難に過ごした毎日でしたか？ 課題に追われた毎日でしたか？ どういう過ごし方であっても、きっとこれからの人生の糧になっているに違いないと思います。ただ、一つ言いたいことは、仮に結果が同じになるなら、ネガティブに生きるよりもポジティブに生きた方が人生楽しくないのでしょうか？ ネガティブな生き方というのはつまり受け身ということです。無難に過ごす、課題に追われるというのはどちらかという受け身ではないですか？ 例えば、脱出ゲームを日々しているということです。毎日壁が迫ってくるような生活って大変ではないですか？ それに対して、ポジティブな生き方というのは自分の好きなことをすることです。ここで、好きなことをするためには余裕がなければなりません。その余裕を作るためには、計画的に行動することが一番ではないのでしょうか？ もうすぐみなさんは高校生です。この瞬間にポジティブな生き方に変えてみるのはいかがでしょうか？ きっと、日々がますます楽しくなると思いますよ。



Good



HEY

Uni-t

第34回

サイコー!!

SPECIAL DAY



BEST



topia

清榮祭



LOVE



Great!



NICE!



ICT 教育インタビュー

西大和学園はコロナ禍でも色々な対応を迅速に行っていました。その裏側にどんなご苦労や工夫があったのか、オンラインで岡田学園長と情報科の光永先生にお話を聞かせていただきました。

育友会 打田 広報部長（以下、打田）

保護者として、新学年になって子どもたちの授業がどうなるのか、子どもたちが楽しみにしている学校行事がどうなるのか、そんな不安な状況の中で先生方が様々な工夫をされていたとお伺いしたのですが。



今回のインタビューもオンラインで行われました。

岡田 清弘 学園長（以下、岡田）

4月2日に始業式を行って、すぐに休校となり、3月に引き続いて生徒の登校がなくなりました。今までの当たり前だと思っていた事ができなくなって、学校から、生徒が消えて、いつ通常の授業が再開できるかわからないという状況の中で、理事長を中心とした幹部会議の中で、どんな対策がとれるか、という事を話し合いました。

そんな中、中岡校長から「情報科の光永先生が、3月にZoomを使ってオンライン朝終礼やL.H.R.を34期高等部でしていた」という報告を受けました。その後、電算部や情報科が中心になって、各学年部長、各先生方が互いに知恵を出し合って、「絶対に自学年に空白をつくらない」、「対面授業に勝るとも劣らない良質の授業を提供したい」という想いで動き始めました。まず4月1日に教員向け研修会を実施しました。そしてその時から光永先生の力は大きかったと思います。

打田

対応が早かったという印象です。

情報科 光永 文彦 先生（以下、光永）

各学年部の先生方の話を聞き、最大公約数となるイメージ像を創りあげて、西大和に合うシステムを構築しようと思いました。元々、29期の学年がiPad、Google

for Educationを導入したときから、年次進行でBYOD (Bring Your Own Device) が完成していました。これまでもGoogle classroomで教材を配信して、Google Driveで資料や配布物を共有して授業を少しずつ改良してきましたので、そこにオンライン朝終礼や授業を足すことは、とても自然な流れでした。私自身も数学や情報の授業において、授業中の板書は全てを共有していました。

問題は、休校期間の生徒たちにどうアプローチするか、高校生は自然な流れが作れるとしても、BYODが完成していない中学生にどのように届けるか、それがシステムを構築する軸になりました。



打田

先生方のご苦労が伝わりますね。

光永

GoogleにもMeetというアプリがあるのですが、10種類くらいのオンラインシステムを比較した中で操作性が最もシンプルで、経済産業省の「#学びを止めない未来の教室」のキャンペーンで4月30日まで無料で試せるオンライン会議システムZoomを選択いたしました。



光永先生のご自宅での授業風景



4月4日に配信された「仮想入学式」の1コマ

打田

あまり知られていませんでしたよね。Zoomって。その後、どのように導入されていくんですか？

光永

はい。教員研修会で、いくつかの選択肢を準備しました(資料参照)。主に教育工学や学習科学、FD (Faculty Development: 教育能力の実践研究)を専門とする大学の先生方と議論していく中で、リアルタイムでただ授業をオンラインに上げるだけでは効果が薄い、それよりもオンラインだからこそできるオンデマンド型授業やHy-Flex型授業(リアルタイムで教室とオンライン)を検討してみても良いのでは、という結論になりました。先生方にアドバイスできる選択肢が増えたのは大きかったと思います。

打田

すべての学年が同じというわけにはいきませんよね。

光永

今ある西大和学園の環境でできることを考えた結果、中学校1年生から高校2年生までは生活のリズムを大事にするためにZoomでリアルタイムの授業を、高校3年生はZoomに加えて、より効果的な学習を目指してYouTubeでのオンデマンド授業も行いました。私も1か月ほど自宅からZoomでの授業を配信していましたが、50cm前に300名近い生徒がいると思うと不思議な感覚でした。

岡田

4月1日の教員研修会から始まって、その週末にはZoomを使いこなし、授業を何本も上げている先生方にはとても驚かされました。既存の授業を再現するのではなく、オンラインだからこそできる授業を先生方が工夫して、共有しているのですから。

打田

機材などもすべて、そろっていたわけでは、ありませんよね。

岡田

5月以降のZoom契約の延長や配信用のビデオカメラ

やマイクなどの機材、iPad Proの追加購入など、先生方からのアイデアを形にするために必要だと幹部会で判断しました。費用としては小さくないです(笑)。

打田

入学式も延期になったんですね。

岡田

はい。やっとの思いで、難関を突破した新入生にとって、入学式ができないわけですから、しかも、延期とはいえ、実施日を約束できないわけですからね。

「入学式を延期したまま、オンライン授業では気持ちの切り替えができない」と新入生を迎える新中1と高1の学年部の先生方が「仮想入学式」を思いつきました。

4月4日の入学式の日思いつき、すぐに撮影、編集してその日に配信したんです。今年は満開の桜があまりに綺麗すぎて、コロナ禍でその美しさが逆に切なくて、満開の桜のスロープを歩いて体育館へと向かう仮想入学式の動画(写真)を観たときは、涙がでてきました。

打田

すごいいい！新入生や保護者の皆様はさぞかし嬉しかったでしょうね。

岡田

緊急事態宣言が出て、社会情勢をにらみながら6月6日(土)にオンライン入学式という形で挙行することになりました。保護者の皆様にはお越しいただくことができませんでした。入学式の様子を生中継し、後日、DVDを配布するという事にしました。ここでも光永先生、大活躍です。

光永

私も35期高等部の一員として、入学式をどのように迎えるかは非常に気にしていたところでしたので、リアルを感じていただこうと、YouTube Liveでの配信を決めました。試行錯誤の部分も多く、当日もお聞き苦しい部分もありましたが、中学校2,360回、高校1,879回も再生していただき、また、学年の懇親会では「凛とした厳粛



入学式当日の1コマ

な空気感を感じられて良かった」,「遠方のおじいちゃん,おばあちゃんにも入学式を観てもらえた」など多くの保護者の方から感想をいただきました。

打田

今年は芸術鑑賞会もオンラインでしたし,今までは保護者が見ることができなかった部分も見ることができて,また違った1年になったような気がいたします。

岡田

今年度始めたことだけでも,オンライン授業,オンライン会議,オンライン入学式,オンライン保護者会,オンライン会員の集い,オンライン文化祭,オンライン生徒会選挙にオンライン芸術鑑賞会。多分,できなかったのはオンライン体育祭くらいです。そして単なるオンライン化ではなく,オンラインだからできることを,生徒たちや先生方が工夫していました。さすが,西大和学園です。

打田

特にオンライン文化祭は確か,テレビの取材も受けるほどだったんですね。

岡田

特にVR空間に忠実に再現されたオンライン西大和学園の校舎は圧巻でしたね。ある生徒が夏休み前から,学校中をメジャー一本で計測している姿を見ましたから,余計完成品を見た時は感動しました。“何してるんだ”と注意しなくて良かったです(笑)。文化祭実行委員や生徒会電算部の生徒たちは,良い思い出になったんじゃないですか。

光永

色々な制約があって,分散登校での清榮祭ということになりました。実質縮小案です。従来のイメージしていた文化祭とは全く違うことしかできない。生徒たちは皆一様にショックを受けていたのですが,高校2年生から「オンライン清榮祭はどうか」と提案があり,そこから,文化祭実行委員でオンラインコンテンツを作成し,「生徒会電算部」を結成して“新しいオンライン清榮祭”のシステム構築とそれを運用するための準備を,ひと夏全てを賭けて創ることになりました。

そして,生徒会電算部でコンピュータ部部长だった清林義生君が校舎のすべてを測量してデータ化し,同じくコンピュータ部の永福椋士君がそのデータを編集して,バーチャルSNSであるclusterで再現しました。校舎の中にはクラスの展示や有志団体のコンテン

ツ,文化部展示などが楽しめるようにデータを配置し,来場者はそれらを自由に散策しオンラインでも文化祭を満喫することを西村幸治君がデザインし,特設HP上にはクラスの展示の発表物(発表スライドや発表している様子を撮影した動画やPDFなど様々なコンテンツの掲載)や有志団体の動画などをまとめました。そして,折角のオンライン。事前準備だけではなく,1か月かけて盛り上げていく形にと,9月30日にOnline Finalを迎える「1か月文化祭」になりました。

「オンライン清榮祭」を決めてから約1か月半,それぞれ生徒たちが,青春の全てを捧げて構築したと言っても過言ではありません。これは間違いなく,彼らでなければできなかったことです。

打田

生徒たち,凄いですね。

岡田

我々教員は,当たり前ですが,生徒たちの安全を最優先します。限られた条件しか生徒たちに示せないこともあります。時には,それが,生徒たちの想いとは真逆になることが多々あります。しかしそんな中でも,生徒たちは,私たちが思いもつかない素晴らしいアイデアを出して工夫してやり遂げてしまう。そんなエネルギーを西大和学園の生徒たちには感じます。生徒たちも,先生方も多くの新しいことにチャレンジした1年でもあったのかと思います。

打田

本日はありがとうございました。



オンラインを支えた生徒会電算部メンバー



感謝の一年

中1学年部長

筆保尚純

4月4日の入学式の実施を見送らなければならないという西和学園が経験したことのないような状況の中で、手探りのまま始まった中学1年生でした。保護者の皆様、生徒のみなさんの「これからどうなるのか」という不安はどれほどのものであったかと思えます。そのような状況の中でも保護者の皆様におかれましては、ネット環境の整備や端末の準備など、急なお願いばかりでしたが、ご協力いただいたことをこの場をお借りして、あらためてお礼申し上げます。皆様のご協力もあり、約2ヶ月の期間をオンライン授業を駆使しながら意味のあるものにする事が出来たように思います。緊急事態宣言も解除された6月6日、残念ながら保護者の方に来ていただくことは出来ませんでした。入学式を執り行うことが出来ました。オンライン授業の期間中に画面の向こうにいた生徒たちの笑顔を見たのはつい昨日のこのように思われます。そして、あっという間に中学1年生が終わろうとしています。

今年度を振り返って思うことは、今まで当たり前のように実施していた教育活動や、西和学園が培ってきた様々な取り組みを思うように実施できず、自分たちのしてきたことを一から考え直さなければいけない。そんな1年間であったように思います。4月の新生生の宿泊研修に始まり、各体験学習・体育祭・ファームステイ・スキースクール彼らの成長に大きな影響を与えるような行事を実施できない中、生徒たちには楽しいことがあまりない、同じような毎日の続く生活をさせるようになってしまいました。与えられた状況の中で、やりたいこと・出来ること・出来ないことについて考えさせられ学年部として模索しながらも、期待に答えられないことも多くありましたが、同時に生徒の笑顔や保護者の方からかけていただく温かい言葉に救われたことが多かった1年でもありました。

来年も状況が大きく改善して今までと同じ生活が送れるようになるかどうかはわかりませんが、今年度の経験を活かしてより充実した教育活動が出来るように新しいことにチャレンジしていきたいと思えます。今年度のチャレンジとしてコロナウイルスの感染症を契機にして急速にICTの活用を迫られる状況の中、今年の1月には、保護者の皆様にはご心配、お手数をおかけしているかもしれませんが、Chromebookも配布させていただきました。試験的な取り組みではありますが、各クラス単位で生徒たちが工夫して学校生活を充実させるために掲示板やGoogleカレンダーなどを活用しはじめています。来年度からはオンライン英会話をはじめとする授業やクエストエデュケーションプログラム（企業探究プログラム）などの課外活動でも活用し、彼らに良い刺激をあたえる機会を増やしていき、同時にネットリテラシーなどを身につけるための取り組みも行っていきたいと考えています。ご家庭におきましてもルール・マナーなどをあらためて考える機会と捉えていただき、お子様とChromebookとの付き合い方を見守っていただき、適宜アドバイスしていただきますようお願いいたします。

出来なかったことの多い1年ではありましたが、生徒たちの姿を見ているとこの1年での成長を実感させられます。ご家庭ではなかなか彼らの成長を実感することも少ないかと思えますので、来年度は学校での活動を保護者の皆様にご存知いただく機会を少しでも増やすことが出来たらと思っています。保護者の皆様のサポートなくして西和学園での教育活動は成立しません。今後もご理解ご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



新しい教育を考える 初年度

中2学年部長

大倉 健

昨年度末からコロナウイルスの影響で休校し、対面授業ができないところから、新年度がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、短期間でのネット環境の構築、端末の準備など様々ご迷惑をおかけしましたが、ご協力いただきありがとうございます。そのおかげもあり、子供たちはオンライン授業に切り替わった時にしっかり取り組むことができていたように思います。最初は「スタディサプリ」を導入し、私達も慣れないオンライン授業を模索しながら取り組んできました。現在もまだ取東が見えない中で、オンライン授業を逆に利用する初年度という位置づけで考えることが今後は必要かもしれません。そのこともあり、夏と冬はオンラインでの講座を開講しましたが、私達は対面授業と同じぐらいの効果がある授業展開をこれからも考えていきます。

さて、この学年に関しましては、2月6日（土）に高校受験が終了し、先日その結果が出ました。結果としては、過去最高学年の結果を30名以上更新する148名が合格するという結果になりました。今年1年に関しては、高校受験に対してどれだけ真剣に取り組むかということをお子たちに考えさせてきましたが、子供たちが頑張ってくれた結果だと思っております。いよいよ本格的に高校内容に入るこれからは、大学受験に対しての意識付けの始まりのタイミングだと思っております。

また、今年度に関しては、富士登山が中止となり、スキースクールも来年度への延期が決まりました。スキースクールに関しては2年連続の延期となり、子供達にとっても楽しいイベントがない1年になってしまいました。次年度、この1年ちょっと楽しめる行事がなかった子供たちに対して、何か面白いイベントができるように考えていきたいと思っております。

来年度、このコロナウイルスの影響で全国的にも『GIGAスクール構想』が加速し、本校でも中学生から「Chromebook」を持つということが決まりました。この「Chromebook」は本校では初めて【2in1】形式で、スタイラスペンが標準装備された機種を選定させていただきました。次年度以降、積極的に端末を使った子供達への指導を行っていき、ネットリテラシーなどを身につけさせるきっかけにもさせていただきたいと思っております。ご家庭でも端末の使い方について約束事を決めるよい機会として捉えていただき、勉学で使用している部分については、どのように使用しているかを見守っていただければと思います。1人1台端末を持つことによって、今までと違った特別講座や補習、授業スタイルを来年度以降は私達も学びながら提供していきます。また、スケジュール管理を電子化したり共有することで、連絡事項の抜け漏れが無いようにすることや、子どもたちの学習状況をスケジュール表の提出なく、チェックできるようにしたいと考えております。

また、オンラインコンテンツの拡充も進めていきます。「スタディサプリ」も来年度以降継続で使用し、来年度からは「スタディサプリENGLISH」も利用していくこととなります。また「atama+」も3月から導入し、学校教育では補いにくい部分についても、積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、ご協力をお願いすることが多々あると思っております。よろしくお願ひ申し上げます。



会員の集いのスライドが できるまでの裏話

中3学年部長

荻原 琢磨

今年は会員の集いが無く、私の想いを直接保護者の皆様に伝える機会がありませんでした。会員の集いで発表は、一年の中で最も緊張すると同時に、学年部長として一番大きな仕事であると思っています。たった30分ですが、あの瞬間のために膨大な時間を費やして発表に臨んでいます。発表は単なる校務報告ではなく、保護者の方(特にお母さん)へ私の想いを伝えることができる貴重な時間です。ホテルの会場で話を聞き、会員の集いが終了すると同時に大きな扉をくぐって帰宅する。その瞬間、「今日は荻原先生の話聞いてよかった。子どもへのアプローチを少し変えてみようかな・・・」と思ってもらえたら話は成功、そこが最終的な着地点になります。今回は、私が会員の集いで発表するまでの過程を裏話としてお伝えします。

4月になると、まず会員の集いが行われる日を真っ先に確認します。その日程を確認してから「今年のテーマは何にしようかな?」と考え始めます。中学1、2年では前向きに楽しく学校生活を送れるような話、中3、高1では中高一貫校ならではの中だるみ解消方法、受験前の高2、高3ではお母さんの声掛けの大切さを中心に話をします。話をする上で一番重要になるのが「ビッグアイデア(私がお母さんに伝えたい、気付いてほしいと思っている話の核になる部分)」です。このビッグアイデアが中途半端になると、話も全く面白いものではなくなってしまいます。順調な時はこのビッグアイデアが2か月前には決まり、構想を練り始めます。遅くても1か月前には大まかな話のストーリーは決まります。

スライドは2週間前から作り始めます。本当はもっと早くから作りたのですが、ビッグアイデアを引き立たせるために最後の最後まで様々な情報を収集します。時には生徒にアンケートを取ってお母さんに対するコメントを収集する時もあります(私の経験ですが、生徒のコメントを入れると会場は必ず盛り上がります)。

いよいよスライド作成に入りますが、会場にいるお母さんが私の話の主人公になるように話を組み立てます。そのストーリーの中には大きな困難がいくつも立ちはだかっていますが、最終的にはその困難を乗り越えられるようになっており、お母さんが「笑顔」になるというところで私の話は終わります。学年部長として8回話をしていますが、上手に話ができたときは保護者の方からも「すごよかったです」と言われますが、行事報告で少しでも時間稼ぎすると「今年は先生らしくなかったです」とストレートに言われます。

今回、会員の集いの舞台裏を言ってしまうので、来年度の発表はかなりハードルが高くなってしまいましたが、今から情報収集して最高の発表にしたいと思っています。一年間色々ありましたが、本当にありがとうございました。また保護者の皆様にご覧になることを楽しみにしています。



35期中等部 高1のテーマ “Try Everything”

中等部高1学年部長

佐々木 淳也

コロナがあろうが無かろうが、高校1年生は“Try Everything”のもと、「全部頑張らなさい!」という1年にしたいと考えていました。でも私の思っていたEverythingは、コロナによってちょっと思っていなかった方向に行ってしまいました。入学式の延期と縮小、スポーツ系の行事は中止、高校生になって最初の文化祭はオンライン、海外探究は高2の6月に国内へ変更、私が密かに温めてきた高野山合宿もできなくなりました…

とはいえ、決してネガティブなことを言いたいわけではありません。その対価として、生徒にとっても教員にとっても進化できた面がたくさんありました。ただただ、Everythingが違う方向に行っただけでこの状況で得られた力もあるのです。

① 主体的に動く力

高校1年での授業がオンラインの形でスタートし、なかなか苦しいオンラインの状況を子どもたち自身が工夫してより効果的なものになるようにしてくれました。Classroomを活用した情報提供・共有や『オンライン黒板』の立ち上げと充実、Zoom勉強会の開催など、『コロナが無ければ考えなかったであろう良いもの』を生徒が主体的に動いてたくさん作り上げてくれました。

② 複数のことをやり抜く力

今更ですが高校1年は、授業科目が多いうえに授業進度も予定通りで高校内容終盤を扱っているため、勉強だけでもあれもこれも大変な1年だったと思います。苦しみながらもどの教科も捨てることなく頑張り抜いた経験は、子どもたちのキャパシティを広げてくれたと思っています。

③ 巻き返す力

この1年間、実は実力テスト系のものが5回もありました。そしてどれもが授業進度に対しては“復習”になるものでした。各実力テストに対して目標と目的意識を定めて取り組むことが、個々の課題の「捲土重来」につながっていきました。特に年明けの共通テスト同日や高1プロシードに向けてはよく頑張っていました。いよいよ高2「受験期」に突入する準備ができてきたのでしよう!

④ 乗り越える力

上のよう挙げると、やはり今年1年はどうしても勉強中心になってしまい、メリハリをつけるのが難しい1年でした。メンタル的に弱ってしまうこともあったと思いますが、自分自身の中で葛藤をつづけ、周りに支えられながら、少しずつ克服していく経験をした子どもが多かったと思います。お楽しみ会好きな学年なので、各クラスの中で気分転換のレクを企画して、何とかメリハリをつけようとし笑顔を見せてくれたのには私自身が癒されました。

⑤ 協調する力

新たに高等部をチーム35期の仲間を迎えるにあたって、Zoomを使っただけの新歓を開催してくれました。また、部活動やSSH・AIPを通じてお互いを知り新たな切磋琢磨の相手を見つけることができました。私たち教員も負けじと、35期独自の高等部中等部合同の行事“STEP杯”を2回(10月・3月予定)開催しました。クラスTシャツを作れて良かったです。あと2年で強いチーム35期を完成させていきましょう。

保護者の皆様には、この1年、面と向かってお話しできる機会もなく、これまでに比べて学校生活の見えない部分が多かったと思いますが、そのような状況においても今年度もたくさんのお力添えを賜り、ありがとうございます。様々な力をつけた1年であったと思っていますが、どんな主体性を身につけても、どんなに勉強ができるようになっても、本当に魅力的な大人には「挨拶ができること」「人の話を聞けること」「掃除ができること」が土台にあるべきだと考えています。中1から言い続けているので、今の流行りでは「うっせえわ」と言われそうですが、うっさくって結構。あと2年、言い続けてやろうと思います。今後ともよろしくお願いたします。



35期の一歩目

高等部高1学年部長

平山 巧

35期高等部保護者の皆様、こんにちは。いつもお世話になっております。COVID-19が猛威を振るうこの歴史に名を遺すであろう印象深い年に高校生活が始まった35期の子たち。最初はオンラインだけの付き合いでお互い戸惑いもありましたが、今ではすっかり1つのチームになれてきたように感じております。あの子たちへのメッセージも込めた年度末のご挨拶は学年通信『Another Step 3月号』をご覧ください。この場では今年度の活動報告のみに紙面を割かせて頂きます。

【Another Step】

すべての活動において1歩先を見据えて動ける子たちになってほしいという願い・目標を持って年間計画をデザインして参りました。入学時には「時を守り・場を清め・礼を正す」という本校の生活実践目標の徹底を図った上で、まずは西大和学園での生活に慣れてもらいました。未来へ踏み込むための足場を固めてもらうと共に、同時にその足場回りを広げてもらうための声掛け、面談、HR活動を設定して参りました。クラスや学年の仲間と共に大局的に物事を考えて歩みを計画できるトレーニング期間がこの高1学年であったと言えます。今後もこの理念のもと、卒業後の1歩をしっかりと自分で考えて、自分の力で進んでいける集団にしていきたいと考えております。

【キャリアプランニング】

生徒にとって今年一番のトピックは文理選択でした。6月に登校を始めて12月には文理確定するというスピード勝負が求められ、親御様にも多大なるご心配をおかけしたと推察致します。教科の得手不得手や、一昔前の職業観、自分の身の回りの社会人など限られたデータだけで文理を決めるのではなく、様々なリアルを知ってもらい、そしてあの子たちが大人になる未来に目を向けた結果としての文理選択をしてもらいたく、様々な仕掛けをして参りました。オンラインでの企業研修や講演だけでなく、コロナが一旦落ち着きを見せた夏場には実際に企業訪問もしてワークショップも開催できました。文理が確定してから2月3月の冬場には卒業生OBOGによる座談会をオンラインで開催致しました。自分の意志で、自分の足で、高2以降の適切な進路を見据えてくれていますでしょうか。

【学習カリキュラム】

春先はZoomを介してのオンライン授業になりましたが、そのメリットデメリットも加味した上で夏以降の授業をデザインし、例年と変わらない進度・定着度で走れました。例えば英語では一般に高校で履修が求められる範囲はすべて完了しております。次年度はオンライン英会話なども利用し、知識から運用へと歩みを進めることで英語のセンスを強化していきたいと考えております。数学では高1未現在、Iで微分、Bで数列に取り掛かっており、この進捗でしたら文系であったとしても次年度の夏までにはIAⅡBが全範囲完了するペースとなっており、以降は入試に向けた演習に入っていく予定となります。

今年はずは英数国がメインの学習リズムで生活してもらいましたが、次年度からは文理別の理社がボリューム増でやってきます。英数国に不安のある生徒にはこの春にしっかりと復習に取り組んでもらうように指導しております。

最後になりますが、良い子たちに巡り会わせて頂き、本当にありがとうございます。あの子たちと接することで私自身が毎日楽しく働くことができています。大切に育て上げ、2年後に立派な姿で巣立ってもらうよう尽力致しますので、今後も引き続き西大和学園の教育にご理解とご協力の程をよろしく申し上げます。



あと1年の想い

中等部高2学年部長

澤井 賢吾

34期中等部高2の保護者の皆様こんにちは。今年度は、オンライン授業や分散登校の期間もあったせいか、例年の1年間よりあつという間に過ぎ去ったという印象です。保護者の皆様もかわりなくお過ごしでしょうか。このような緊急事態の状況下、子どもたちは、西大和学園における最後のクラブ活動、SSH、AIPなどの課外活動や文化祭等の行事など、多くの制約があった中で最大限の力を出し、仲間との絆を深め、これまでの成果を発揮してくれました。今回の経験を今後の人生に大いに役立ててほしいものです。

さて、いよいよ大学入試まで1年を切りました。クラブ活動も引退し、子どもたちは受験勉強に励んでいます。授業中も少しずつ緊張感が出てきており、集中力が高まっているように感じます。まずは授業が第一です。授業中にすべてを吸収しきることが放課後や自宅における学習の質を高めます。その上で学習量を増やし、自分のやり方を習得したうえで質を高めていく。遅くとも高2の間には自分の勉強のルーティンや手法を習得してほしいと思います。

子どもたちは、朝早くは7時から遅くは最終下校まで、学校で勉強に励んでくれています。子どもたちの頑張りに応えるべく、我々教員も今必要だと感じている補習やリクエストしてくれた補習などを行い手助けしています。また、スーパー講座、Z会添削、スタディサプリ、駿台サテネット、学外模試など、今後も必要なものを必要に応じ、お子様を通じまして提供していきます。子どもたちにはぜひ、残り1年間、西大和学園を存分に利用してもらい、将来の一助になればと思っています。ありがたいことに、子どもたちの頑張りのおかげで、34期中等部は勉強も課外活動も良い結果を残してくれています。誇らしく思います。最後の最後まで34期中等部はすごかったな、かつ、いい子だったな、と周りから認められるように、残りの日々の学園生活において、最高学年として、あいさつ・清掃・勉強・行事への取り組み姿勢など、後輩たちにも良い影響を与えられる、そんな子どもたちであってほしいです。保護者の皆様には、ぜひ、健康面・生活面でお子様をサポートしていただき、普段と変わらず、毎日学校へ送り出していただければ幸いです。引き続き、ご協力よろしく願いいたします。

先日、大阪国際女子マラソンで、国内初の男子のペースメーカーが付き、女子選手が大会記録を出しました。その際、ペースメーカーはトラックに入る手前までペースを作り、時には選手を励ましながらか支えていました。彼らと同様に、我々教員は、最後まで子どもたちを応援し、ペースメイクをし、お子様の将来にとって良い方向へ導きたいと思って日々指導しています。しかし、走るはお子様自身です。我々外野の人間が焦ったり慌てたりしても、本人に悪影響を与えるのみです。子どもたちのために自分自身が今できることを考え、実行していく、それが積み重なれば、子どもたちもその応援に気づき、成長していくと信じています。そして、早い段階で我々ペースメーカーを追い抜き、ひとり立ちし、自分自身の力で最後の最後まで高い志をもって諦めずに走り抜く、残りの1年間そんな姿を見せてもらえたら、「西大和でやりきった」という想いで卒業してくれば、お互いそんな幸せだった6年間はありません。泣いても笑ってもあと1年、「西大和一心」、残り1年を、みんなで、一生懸命に、一心に西大和で過ごしてもらいたいと切に願っています。



ともに素敵な英雄譚を

高等部高2学年部長
高崎道裕

1949年に、米国の神話学者ジョーゼフ・キャンベルは『千の顔を持つ英雄 (The Hero with a Thousand Faces)』という研究書の中で、各地の神話に登場するヒーローの物語の構造「英雄の旅」を示し、世に大きな衝撃を与えました。ジョージ・ルーカスが『スターウォーズ』に、この神話論を取り入れています。キャンベルは、世界の英雄伝説がすべて構造的にすべて同じであることを明らかにしました。古の時代から愛され、語り継がれる物語は同じであり、人類は、扱う設定は異なるものの、結局は同じ物語を何度も何度も繰り返し語り続けている、というのです。この概略を、今年度出会った本の中からご紹介します。

- ① 日常世界…ヒーローが環境や伝統、育ってきた背景に反するような人物として登場。
- ② 冒険への誘いと拒否…外部的な圧力や、自己の深いところから生じた何かによって、ヒーローが変化の始まりに直面。未知のものを恐れ、一時的に冒険から逃げようとする。「道化」が不安感や先行きの危うさを主張することもある。
- ③ 賢者との出会い…ヒーローは広い世界を知る年長者と出会い、訓練に必要な道具や助言などを受ける。あるいはヒーロー自身が自分の内面に知恵や勇気の源を見出す。
- ④ 戸口の通過…ヒーローは日常世界を去り、なじみのない決まり事や別の価値観の存在する新しい領域や環境へ。
- ⑤ 試練・仲間・敵…ヒーローが<特別な世界>で訓練に遭い、忠誠を学ぶ。
- ⑥ 最も危険な場所への接近…ヒーローと新たに見つけた仲間が、(特別な世界)での最大の試練に向け準備を整える。
- ⑦ 最大の試練…物語の中盤。ヒーローは(特別な世界)の中心に迫り、死、もしくは最大の恐怖に直面。死への直面を乗り越えることで、新しい人生がやってくる。
- ⑧ 報酬・帰路・復活…宝を手にし、冒険を完了する。この際作品によっては、再び宝を失う危機が迫ったり、敵に追われたりや切迫した場面になることも…。ヒーローは、より高い次元の人間として完成される。
- ⑨ 宝を持つての帰還…ヒーローは成長を遂げ、世界を変える力がある宝を持って故郷に戻るか、そのまま旅を続ける。

この構造は、大学受験をめがけて走る高校生の3年間と非常によく似ています。卒業後に、「あの生徒は受験を通じて立派に成長しましたね。」と、語り継がれる卒業生がたくさんいます。最後に難関大学の現役受験という(最大の試練)を迎えるのは主人公である子どもたちであることは言うまでもないですが、「英雄の旅」の中では、主人公に対して不安を煽る「道化」はつきものであり、また、主人公に知恵や勇気を与える仲間や「賢者」もまたつきものなのです。つまり、どのように我々学校や保護者の皆様が接するか、声をかけるかで、子どもたちの遂げる成長の大きさが変わります。

「大学受験」という〈物語〉の中で、我々が立ち会えるのは、子どもたちの⑧番まで、物語の中盤までです。しかし、語り継がれる〈物語〉のエッセンスは、中盤までで決まります。主人公がどのようにして「道化」の誘惑に打ち勝ち、よき仲間と出会い、確かな知恵と勇気を見出せるかが重要となります。卒業後に34期高等部の全ての子どもたちが、感動的な⑨番を迎えられるよう、主人公と一緒に駆けて行く「仲間」であり、見守る「賢者」でありたいと願い、34期高等部としてのご挨拶とさせていただきます。

【参考】

クリストファー・ボグラー&デイビッド・マッケナ著、府川由美恵訳(2013)『物語の法則—強い物語とキャラを作れるハリウッド劇創作術』株式会社KADOKAWA。

高校3年生の保護者からの一筆啓上
「愛する子どもたち」への短い手紙

人生の節目において、18年間のあふれる
想いをつづります。

- ♡今6年間を振り返って、貴方にはどんな風に映っているのでしょうか？悩んだり苦しんだり、思う様に進まない、理解されない。沢山悔しい想いもあったのかもしれない。どんな時もブレない貴方の強さや、明るくポジティブな姿に、私は沢山の気づきや学びを得ることが出来ました。これからの人生、貴方らしくを願います。幸せは貴方の物差しで、貴方自身が感じるものだから。夢に向かって！これからもずっと応援してるよ！
- ♡文句も言わずひとつも残さず15年間食べてくれたお弁当、空っぽのお弁当箱を見るたびに笑顔が溢れました。これからも元気で優しいあなたでいてくださいね。
- ♡この2年で料理に目覚めたあなた、母の思いで大学進学になったけど、これからの4年間でじっくり先の事を考えてください。そして、おいしい晩ご飯と糖分控えめスイーツをお願いします^_^
- ♡念願叶って入学した西大和。6年間休まずに登校しましたね。目標を持って挑戦している姿には頭が下がる思いです。これからも目標を持って前に進んで行ってね。ずっと応援しています。
- ♡たくさんの幸せをありがとう。あなたの親になれたことに感謝しています。長く生きて、あなたの人生を味わい尽くしてください。いつでもどんなときでも応援しています。
- ♡これまでのあなたの行動には親として赤面してしまう事も多々ありましたが、その素直さはいつまでも持ち続けて下さい。
- ♡あなたの事が心底心配で、口喧嘩ばかりしていましたが、あなたが6年間頑張ってくれたからこそWSCなどたくさんの人との出会い・楽しい経験をさせてもらいました。本当にありがとう。喧嘩も卒業。ずっとあなたの幸せを願っています。
- ♡初めて大和路快速に乗った時、母ですら不安になった長距離通学を、小さい身体に大きな荷物を背負って、6年間！よくがんばったね。西大和学園だからこそ出来た数多くの経験と、出会った先生方や友人は、きっとこれからの君にとって、大きな支えとなるでしょう。本当に良くがんばりました！自慢の息子だよ？
- ♡親元離れて生活することに不安もあったでしょうがあなたは精一杯努力しました。親として誇らしい気持ちでいっぱいです。西大和学園で培った知恵と知識を武器に大胆不敵に生き抜いてください。
- ♡劣等感に苛まれ幾度となく掛けそうになりながらも6年間本当によく頑張ったと思います。西大和だから得た経験や出会いを大切にこれからの人生も謳歌して欲しいと願っています。
- ♡この6年間で本当に成長したね！先生方、お友達に恵まれたと思います。朝早くから夜遅くまで楽しんで勉強や部活にのめり込んでいる姿は見ていて面白かったです。ありがとう！これからもスーパー熱い男でね！
- ♡超が付くほど方向音痴のあなた。中学入学当時はちゃんと学校にたどり着けるか、ハラハラドキドキの毎日でした。それがあつという間に友達と大阪、奈良、京都と楽しく自由にとびまわっていましたね。これから

- 先も日本中、世界中をかけ巡って人生を謳歌して下さい。(ただし、人生の迷子にはならないでね！)
- ♡コロナ禍はやがて歴史の教科書に載るでしょう。そのとき、あなたはあなたの子どものに、部下に、「私は逃げなかったよ。」と語ってください。私たちの世代が起こした厄災の中でも、逃げず受験に立ち向かう姿に、その成長に、私たちは刮目し、勇気づけられています。未来を託せる人に育ってくれて有難う。父と母より
 - ♡あなたを育ててきて、私達はたくさんの数えきれない幸せをあなたからもりました。これからは、あなた自身が世の中の困っている人達に幸せを与えられる存在になれるよう、夢や目標を見付けて努力して行って下さい。
 - ♡遠い道のりを6年間よく通いました。普段頑張っている姿を見られるのが嫌いなあなたでしたが、諦めず日々努力をしていましたね。まだまだ人生は長いです。色々な事に挑戦しながら 一步一步前進してください。
 - ♡いつてきまーす！と毎日元気に通いましたね ケンカも沢山しましたが 母にとって貴方は誇りです！
 - ♡毎朝早起きで重たい鞆を持ち長い通学本当によく頑張りました！素晴らしい西大和学園の教育を受け、知識と根性と自立心そして何より一生懸命努力する力を身につけて大きく成長してくれた事は大変嬉しく立派に思います。これからも自分の人生を自分の力で切り拓いて楽しく幸せに生きていってください！
 - ♡入学時は長い通学時間を心配してましたが、いつも楽しくほとんど休まず6年間通学する君を誇りに思っています。お世話になった先生方や友人たちに常に感謝の気持ちを忘れず、この学園で培ったことを大切にしていって下さい！ずっと応援しています。
 - ♡6年間、本当によく頑張ったと思います。あなたを通して私達も沢山の事を学び色々な景色を見る事が出来ました。そして保護者の集いの手紙で「この家に生まれて来て良かった」と書いてくれましたね。有難う…私達こそ、あなたが生まれて来てくれて良かった！幸せです。これから先も私達はあなたの進む道を応援しているからね??
 - ♡手がかかる問題児だったあなた…西大和学園との出会いであなたは立派に成長しました。西大和学園での6年間はこれからのあなたの人生の大きな糧となるでしょう。西大和を巣立つあなたは私の自慢の息子です。
 - ♡傍で見ていて時にはこちらも辛くなるほど目標目指してよく頑張っていました。患者さんに寄り添える医師になれると思います。これからもずっと応援してるよ。
 - ♡6年前、西大和で【行きたいところ】【チャレンジしたいこと】 沢山言っていました、ほぼ全て実行しましたね。悔いのない6年を頂いた先生方や友人への感謝を忘れず、次のステージでも前を向いて明るく楽しく過ごして下さい。親の願いはただそれだけです。
 - ♡見守ることしかできなかった6年間でしたが、この6年で、あなたは常に感謝することを忘れず、努力することを覚え、人としてひと回りもふた回りも成長したと思います。毎日の家事手伝いには感謝の気持ちでいっぱいです。あなたは母の誇りであり、自慢の息子です。6年間、本当にお疲れ様でした。
 - ♡高い壁を登る為に積み重ねてきた努力は、きっと今後の貴方の自信となるでしょう。貴方は母の最高の宝です。生まれてきてくれて本当にありがとうございます。
 - ♡「6年間、この学校に通って本当に良かったと思ってる」あなたの心から紡がれ出たその言葉が、親として何より嬉しいです。育てて頂いたこの学び舎に感謝し、人として大切なことを忘れず、新たな一歩を踏み出して下さい。18年間、一緒にすごせて、楽しかったよ！

- あなたを誇りに思う、父母より。
- ♡毎日楽しく学校に行く姿を見て安心してました。友達にも恵まれ部活も頑張ったね。産まれた時小さかった手はもう母より大きいけど、その手がつかむ未来が明るいようにと、祈ってます。母の息子に産まれてきてくれて、ありがとうございます。
 - ♡私たちが夫婦の元に生まれてきてくれてありがとうございます。優しくいい子に育ってくれてありがとうございます。様々な景色を見させてくれてありがとうございます。色々な経験をさせてくれてありがとうございます。素敵な人たちに会わせてくれてありがとうございます。家族の希望になってくれてありがとうございます。各方面からの多大なプレッシャーに打ち勝ってくれてありがとうございます。沢山ありがとうございますと言わせてくれてありがとうございます。君も沢山のありがとうが言える人生であれ。頑張れ！
 - ♡6年間、遠距離通学をしながらも様々な事にチャレンジし頑張る姿に親として沢山の感動や喜びをもらいました。ありがとうございます。もうすぐ巣立ち、心配はあるけれどきっと大丈夫！そう思わせてくれる程成長したね。これからもどんどん世界を広げて大きく羽ばたいて下さい。応援しています！
 - ♡感謝する気持ちを忘れないように。今まで周りにしてくれた人たちに、これから関わってくれる人たちに。そして、感謝される人にもなってください。私は、あなたに感謝する人の第1号です。私の子どもに生まれてきてくれてありがとうございます。
 - ♡野球部楽しかった～そして引退後切り替えて頑張るあなたを尊敬しています。これからも心身共に健康第一で頑張ってください。母より
 - ♡6年前、反抗期初期の中で入学も記念写真も渋々の中で学園生活がスタート。親子でぶつかりながらも先生や友人に恵まれ部活無事卒業する事が出来ました。
 - ♡毎日元気でいてくれてありがとうございます。母親として大切なことをたくさん教えてくれてありがとうございます。悲しい気持ちも嬉しい気持ちも
 - ♡長い通学時間、6年間頑張ったね。学校生活では、勉強はもちろん、いろんな経験もでき、先生、友達にも恵まれ、親としてありがたい気持ちでいっぱいです。これからも、当たり前じゃなく、感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって進んで下さい。応援しています。
 - ♡6年間、休まずに学校に通い、目標に向け、弱音を吐かず、最後までやりきったこと、本当に素晴らしいです。その姿にパワーをもらいました。ありがとうございます。これからも、自分を信じて、正直に生きて下さい。
 - ♡6年間という長い期間、遠方から、よく毎日頑張っていましたね。お疲れさまでした。色々な事があったけれど、これまでのあなたの努力や忍耐は、必ずあなたの宝となります。人の為になる様な人になってくれれば、嬉しいです。これからまだ長い人生、試行錯誤しながら、幸せを掴んでください。
 - ♡入学式のあとだけない表情の写真を時々こっそり見えています。笑った顔は変わらないけれど、考えていること、行動は随分大人に近づきましたね。今では信頼できる話し相手です。この西大和学園で過ごした濃密な時間を糧に、これからどんどん飛躍して欲しいと思います。あなたの母親でいることで、これからも楽しみで仕方ないです！ありがとうございます。
 - ♡コロナや受験で大変な時期だけど、あなたのさりげない優しさにママは癒されています。勉強はもちろん大切だけれど、その優しい思いやりの心は、あなたの1番の武器です。これからも大事にしてね…。
 - ♡まっすぐに目標に向かって努力するあなたを見てたら、わたしも頑張らないと思います。生まれてきてくれて、ありがとうございます。
 - ♡西大和での6年間、母と一緒に沢山の思い出ができた

- した。自信を持って生きていってください。いつでも応援しています。新たな世界へ、飛び立て！
- ♡レールを敷くのを我慢し、あなたが切り拓く人生を見守るのも母としては楽しいものだと高3になって気付かされました。遅くなったね！やると決めたら諦めず！とことん突き進め！！
 - ♡少年易老学難成 一寸光陰不可軽
 - ♡毎日こんなに楽しそうに学校生活を送るとは想像以上でした。あの時選んでよかったと心から思います。
 - ♡中学入学からもう卒業。あつという間でしたが、学校生活はとても楽しく生き生きしていましたね。不安で手を出したくなる時もあったけど、良い友達に恵まれてびっくりするくらいに成長しましたね。これからも期待してますよー？
 - ♡大変なコロナ禍の状況での大学受験を経験した事でこれからもどんな事もきつと乗り越えていける！今まで支えていただいた学校の先生、周りのお友達に感謝の気持ちを忘れずにこれからも健康に気をつけて前に向かって進んで行って下さい。ずっと応援しています！
 - ♡昨年は手紙にて『大好き』って書いてくれてありがとう。思わず嬉し泣きました。私も貴方のことが大好きです。可愛すぎて目に入れたいところですが、痛そうなのでやめておきます。かげながらこれからも健康に気をつけて、
 - ♡周りから精神的に幼いと言われる中でも高校生活の3年では大きく成長したように感じます。離れて暮らす予定の将来は心配が尽きませんが、過干渉な親を卒業するためお母さんもがんばります。共に成長しましょう。心から応援しています。
 - ♡西大和での3年間で普段出逢えない人達に出逢い、得難い体験をさせてもらいましたね。この経験をこれからの人生に活かしてください。父も母もあなたを信頼して見守っています。私たちの知らない世界を見せてください。
 - ♡遅く成長していくあなたを見て、楽しい3年間で。ありがとう。一緒にお酒が飲める日が楽しみです。
 - ♡3年間、何とか頑張れたね！勉強以外にも色んな刺激的な思い出が沢山できて良かったねこれからの人生の心の拠りどころになりますように祈るばかりです
 - ♡3年間、本当に良くケンカしましたね。正直、人生で一番しんどかった3年間でした。あなたも第一志望の高校に入学したのに、とんでもない3年間だったと思っているでしょう。でもね、この学校で学べて良かったって必ずわかる日がきます。いつそう思えるかを楽しみに羽ばたいて行ってください。私の娘に産まれてくれてありがとう。
 - ♡一歳と三歳の時、二度死にかけたあなた。生きてくれているだけでありがたかったのに、後遺症も出ず、諦めていた運動も中学三年生の時には市内で一番になるほど頑張りました。希望していた高校に入学し、かけがえのない友人にも恵まれました。これから先、思うようにいかない事も多いかもしれませんが、健康でいられている事に感謝し、前に進んで行ってください。
 - ♡「やりたいことのためにやるべきことを見つけていく」あなたの心を手紙で知った日の感動は忘れません。あなたなら大丈夫。これからも楽しみです。
 - ♡3年間いろんな経験して成長したなあって頼もしく感じています。残念ながら身体の方は、美味しなお弁当のせいで横にしか成長してないけど、これからも応援してるよ！
 - ♡期待と不安が入り混じった表情で、初めて校門をくぐった入学式から3年。常に目標に向かって進んでいく姿は、とても立派でした。あなたの母であることを誇らしく思います。縁あって出会えた友達との絆を、

- これからも大切にしてくださいね。
- ♡ご存じの通り、お父さんもお母さんもまだまだ発展途上です。人生死ぬまで勉強だと思っているよ。知性と品性とできればユーモアセンスを兼ね備えたステキな大人目指して、共に成長しようじゃないの！一度きりの人生を楽しもう！！
 - ♡人の心に寄り添い、人の人生に関わる優しい人になれる。そうすれば自分の人生もより豊かなものになると思う。人のため、そして世の中に役立つ仕事をするためには今やるべきことをコツコツと積み重ねて努力すること。あなたならやれると信じている。
 - ♡3年間通えるのかとメンタルを心配したこともありましたが、学力だけではなく、人間的に優秀な友人にも恵まれ、なかなか人生で味わえない環境を送ることができたあなたは、とても大きな宝を手にしたとおもいます。うらやましくもあり、とてもあなたを誇りに思います。まだまだ人生これからです。この経験をこれからの人生に、大いに生かしてください。自慢の息子です。
 - ♡中学三年の受験期に父を亡くした貴女。念願の西大和学園に入学してからも、明るく遅しく、その笑顔に支えられてきました。これからも元気に自分らしく歩んでほしい、それだけを願っています。
 - ♡毎日一緒に過ごしていた日常から突然の別れ。あなたが望んでそうなったのではなかった。もちろん、あなたの将来を考えての事だったが、悲しかった。幸い友達にも恵まれ、厳しい学校生活の中にも楽しい時間を見出してくれた。西大和学園、ありがとう！
 - ♡一生懸命な姿に、母は幸せを感じます。言うことを全く聞いてくれないのも自立への一歩なのかな。少し寂しいけれど、頼もしくも感じます。これまで、沢山の喜びを感じさせてくれて、ありがとう。これからも応援してるよ。
 - ♡これからも、たくさんの経験・体験・失敗を活かし、チャレンジする気持ちを忘れず、心身とも健康で悔いのない人生であってほしい。
 - ♡3年間、毎日朝早く起きての登校、よく頑張りました。あなたの信念、尊敬でしかないです。これからの人生も自分の信念を貫き通して下さい。あなたが、私の元に生まれてきてくれた事に感謝です。心から、ありがとう。
 - ♡充実した3年間でした。勉強は大変そうでしたが、毎日、とても楽しそうに登校する姿を見ることができて、私たちも幸せでした。西大和学園での素晴らしい出会いに感謝を忘れず、新しい生活も頑張ってください。いつまでも応援しています。
 - ♡直接会える機会はほとんどありませんでしたが、画面を通じて、音声を通じて、あなたの成長をまざまざと感じる3年間でした。親元を離れて本当によく頑張ったと思います。先生方・友人の方々に感謝すると共に、あなたをとても誇りに思います。
 - ♡3年前に覚悟を持って入学した時から、本当に良く頑張りました。頼りなかったあなたが、いつの間にか自分で考え、乗り越える強さを身につけました。同時に優しさも忘れずにいてくれました。頑張る姿を見せてくれてありがとう。私たちの誇りです。父・母より。
 - ♡学校が遠すぎる、宿題が多い、部活が・・・と心の声ダダ洩れの3年間。でも最後まで投げ出さずがんばったね。一緒に経験、成長させてくれたこと、そして何でも話してくれたことありがとう。
 - ♡親元を離れ、頑張り抜いた3年間。本当によくやりました！支えてくれた祖父母、先生方、お友達への感謝を忘れず、学園での素晴らしい経験を誇りに、これからも夢に向かって力強く歩いて行ってください。

高校3年生の一筆啓上 「愛する家族」への短い手紙

卒業に際して、今まで言えなかったこと、心の中に密かにしまっていた想いを、今日は特別に伝えます。

- ♥いつも朝起こしてくれてありがとう！立派なアーティストになります!!
- ♥孫の顔見せるまで元気でいてね。
- ♥ほんまに、お母さんお父さんの子どもで良かった。それだけで、僕は幸せです。いつもありがとう。好きやで♡
- ♥入れ歯買うから、それまで健康でいてください。待っててね。
- ♥六年間学校生活、色んな人や仲間との出会いがあって、色んな事があったけど、とても楽しかったです。西大和に通わせてくれて本当にありがとう。
- ♥父親はいいかげん正しい情報、知識を調べて、人に間違ったことを教えたり、不必要なことを強制するのをやめていただきたい。母親は「こたつで寝たら風邪引くで」って言うのに、自分はこたつで寝たうえに、腰いたいだなんだと体調不良をうったえるのと、事実変更して記憶するのをやめて。
- ♥好きなメニュー表
1. ハンバーグ 2. すき焼き
3. 鉄板焼
大学入試後もよろしく願います。
- ♥一人暮らしを想定すると、家族への依存度が思いの外高いことに気付きました。いつもありがとうごさいます。
- ♥テスト勉強で夜遅くまで起きている場合でも、ねるときにあなたたちは起きていましたね。よく考えてみると、それは僕ががんばったと思っているときよりも普段から仕事か家事をしていてくれていたということです。今まで支えていてくれてありがとう。これからもよろしくね!
- ♥今まで、そしてこれかも奇跡のような日々をおくるのは支えゆえです。やっと今日まで辿りつけました。思い出をこれからもふやしていきましょう。
- ♥妹と受験が重なったこともあって、余計に心配かけたと思いますが、それでもずっと支えてくれてありがとう。大学生になったらバイトの初任給で家族みんなでご飯食べに行きましょう。
- ♥自立できるように育たなくてごめんなさい。教育は間違っていないはずです。
- ♥特別な3年間。今まで経験したことのない3年間。ついに高校生活の終りがやってきてしまいました。西大和学園を選んで大正解だった。一生分の財産に感謝。
- ♥勉強で疲れた私を思って、冷蔵庫に毎日アイスを買ってきてくれてありがとう。
- ♥父へ コロナ禍で飲み会がなくなったおかげで、夜中に起こされることなくゆっくり眠れるようになり、日

中の勉強もはかどりました。ありがとう。

- ♥共通テストのときババロア美味しかった。
- ♥なんやかんや毎日弁当つくってくれたことが何よりもありがたかった。来年から1人でご飯つくるのも不安やけど、いろいろ教えてください。
- ♥「行ってきます」「行ってらっしゃい」こだまする後に気づく 親子のきずな
- ♥心配ばかりかけたのに、愛情を持って育ててくれてありがとう。いつか誰かを幸せにできるよう、これからは一人で精進します。
- ♥迷惑かけることも、長い人生だから、まだまだあるだろうけど、ずっと自慢の息子ではい続けます。
- ♥幸せ“ましまし”でいきましょう。
- ♥今までお疲れ様でした。いつか孫の顔を見てください。
- ♥いつも自分のために色々考えて動いてくれてありがとう。
一人で生きていけるよう、もう少し大人になるね。
- ♥普段は言えないけど、口を防がずにくしゃみをして「むせてるだけ」と言ってごまかすところ以外は本当に大好きです！だから、長生きしてね。
- ♥どんなときも、いつも僕のそばにいてくれたね。ありがとう。
- ♥僕にしていること全てに感謝。買ってくれた植物は1つも枯らさずに大切にそだてます。
- ♥僕が一番感謝していることは、今まで僕が選んだ進路に反対せずに、応援してくれたことです。私学の高校に行くのは、家庭の状況から考えても、わがままなことだったと思います。それでも、西大和に行きたいと言った日から、ずっと応援してくれたことで、僕は勉強に集中できたし、高校生活も楽しくおくれたと思います。家庭で楽しく過ごせたことが、僕にとっての一番のサポートでした。
- ♥受験前でストレスにやられたり、将来のことで悩んだりしたけど、そんなときにいつも助言や相談をしてくれてありがとう。進路について指示されたことはついに一度もなく、いつも自分が進みたい道を尊重してくれたからこそ、全て“自分事”としてここまで頑張ってくれたと思います。
受験も、そしてこれからも、自分が選んだ道を突き進んでいくので、末永く見守ってください。
- ♥18年間、親に頼り、迷惑を多くかけてきました。感謝しています。大学に入るにあたり、自立のために1人暮らしをしたいと思います。確かに多くの困難が私を待ち受けているでしょう。しかし、私は乗り越えて見せます。そのため、多くのおこづかいが必要です。御融資願います。
- ♥例え誌面でも「ありがとう」なんて言いにくいから、これから感謝の気持ちがあふれ出る行動を見せられたらいいな。
- ♥けんかをした後でも、ずっと味方でいてくれてありがとう。「何もできてない」って言ってるけど、毎日ほめてくれたり、お弁当を持たせてくれたり、いっぱい応援してくれてありがとう。

中学3年生の保護者からの一筆啓上 「愛する子どもたち」への短い手紙

中学3年間を振り返って、子供たちへの想い
をつづります。

- ★ここ数年の思いもよらない速度での成長に驚かされています。そして時折見せる思いもよらない子供っぽさに癒されています。これからあなたらしく。
- ★最近是小言を言う毎日ですが、貴方が産まれた時から貴方の純粋さや優しさを真面目さを知っています。追いかける夢をはやく見つけて駆け出せるといいね。陰ながら全力で応援するよ!!
- ★毎日往復3時間の通学お疲れ様でした。身体的にも精神的にも本当に成長しましたね。たくさんのお友達にも恵まれて母も幸せです。コロナ禍で海外研修等は中止になってしまったけど皆で絶対リベンジして下さい!
- ★中学受験を乗り越え、12歳で親元を離れて寮生活しながら、素晴らしい学友と共に学び、無事に義務教育を終えることを大変嬉しく思います。高校生からは、気を引き締めて大学受験に向けて、更なる努力と社会に貢献できる大人になるべく成長を期待します。
- ★入学して3年間、何事にも全力で取り組み頑張る姿を見て誇りに思います。友達にも恵まれ本当に良い学校生活が送れていると思います。これからも気負わず、ありのままの自分で頑張ってください。
- ★昔から何事にも一所懸命な君。西大和学園に入ってますます磨きがかかったね。先生方が頑張る背中を押してくれるからだ。野球、変面、R-1挑戦、次は何?楽しみにしてるよ!
- ★努力で受験に打ち勝ち、雨で寒い入学式で始まり、素晴らしい友達や先生と出会い、そしてコロナと貴重な経験の3年間でしたね。高校生活もきっと、あなたの人生の宝物の時間となることでしょう!父母はいつもあなたの幸せを願っています。
- ★楽しみにしていた行事や試合がなくなり、期待していた学校生活が送れなかった1年だったかもしれませんが。それでも未来を語るあなたの瞳はきらきら輝いています。夢を叶えるためにこれからも走り続けてね。
- ★コロナ禍のなか、電車通学、本当にご苦労様です。これからも、1番の味方だから、なんでも話してね。一緒に頑張りましょう!
- ★卒業おめでとう。3年間よく頑張ったね。12歳で荒波に飛び出しはらはらしていましたが、いつの間に心も体もとても成長して頼りになる男になりました。あなたは私の誇りです。永遠に宝物ですよ。
- ★入学当初と比べると背も高くなり顔つきも大人っぽくなりましたね。生活様式が変わる中で上手く適応でき感心します。今後の更なる成長を期待します。
- ★3年間心も体も大きく成長し、すっかりたくましくなりましたね。いろいろな経験をさせていただける西大和学園で、良い先生や友達にも恵まれ、毎日がとても充実していたことを嬉しく思っています。これからも今のまま、何事にも全力で頑張ってください。ずっと応援しています。
- ★何があっても、逞しく、誠実に生きてください。人生は細かな事でも、選択の連続だと思えます。先人のしてきたように、何をどう選ぶかという事を妥協せず、面倒がらずにこなしていきましょう。私もそうあるうと思えます。
- ★どんなに眠くてもどんなにしんどくても遅れることなく3年間頑張って登校しました。お気に入りの学校に

- 通えて良かったね。卒業おめでとう!
- ★常に思いやりを持ち、謙虚でいてください。自分の力でつかんだ成果のみを自信とできるカッコいい高校生になるのを願っています。
- ★びびりんちよな所は何も変わらないけど、朝、見送る背中も頼もしく感じます。夢の甲子園、皆で行こう…夢を夢で終わらせない力をあなたたちは持っています。
- ★毎日元気にいってきますを言ってくれる我が子一日も遅れることなく3年間よく頑張ってくれたと思います。まだまだ道は続くので最後まで頑張ってください!
- ★中学入試の帰り道、突然改まって「お母さん、今まで勉強を手伝ってくれてありがとう」と頭を下げてくれたね。母は涙が止まりませんでした。3年経った今も変わらず…素直に感謝を口にできる子に育ってくれて、こちらこそありがとう。
- ★西大和学園に通い始めて、あつという間の3年間。重い荷物を背中に背負い、毎日よく頑張っていますね。今の君の頑張りとは、将来大きな糧となります。君の未来は、眩しいほどにキラキラと輝いているよ。夢を大きくもち、それに向けて一歩ずつ急がず慌てず突き進んでくださいね。
- ★中学卒業おめでとう。心も体も大きくなりましたね。いつの間にか身長も抜かされ…勉強は毎日大変そうだけど、学校から帰ってきてもあなたが笑顔で穏やかに過ごしてくれることでいい1日を過ごせているんだなあ〜と安心していきます。これからは目標に向けて益々大変になると思うけど父・母はずっとあなたの味方です。どんな時も笑顔を忘れずに前を向って元気に過ごしましょう。
- ★お母さんの子に生まれてくれてありがとう。あなたの笑顔に支えられています。全てのことに感謝して、歩んでください。
- ★毎日、楽しく学校に通って本当によかったと思います。途中、1年以上骨折して本当に大変でしたが、高校からレベルの高い授業についていけるよう、これから本気モードで頑張ってください。
- ★沢山の幸せをくれたあなた、幸せいっぱい的人生になって欲しい。あなたの母で本当に良かったです。
- ★私達のもとに生まれてきてくれてありがとう。健康で毎日過ごせる事に感謝!西大和に通えてる事に感謝!
- ★三年間よくがんばりました。また、新しい仲間も増え、人生の新しいステージを一つ進むことになりましたが、自分の信じる目標に向かって、まっすぐ突き進んでください。応援しています。
- ★卒業おめでとう。西大和学園は素晴らしい学校だったね。ここで体験した事は、これからの時代にきっと役立つと思います。間違いなく君の力になるでしょう。これからも先生方を信じて、高校生活も全力で邁進してください。私たちが全力で応援します。
- ★入学当初はまだかわいいかわいい男子の子といった感じでしたが今では制服も窮屈になり大きく成長しましたね。嬉しく思っています。健康がなにより。これからも健康第一で勉強にクラブに頑張ってください。
- ★西大和学園にご縁を戴き、素敵な先生方やお友達に恵まれ、沢山のことにチャレンジした素晴らしい三年間でした。遠方へのJR通学で毎日疲れていても「学校が楽しい!」と1日も休むことなく、キラキラ輝いているあなたをこれからも応援します。
- ★コロナの流れの中、楽しそうに通学し、日々充実した表情を見せてくれるあなたは、私のほくりです。ますます充実した日々があなたに訪れますように。
- ★入学当初は、遠い学校に無事に行って帰ってくるまで毎日心配でした。慣れる迄親子共に少し時間がかかりましたね。お友達や先生方に本当に恵まれ、勉強やクラブに一生懸命に頑張っていて、すご〜くえらいよ!
- ★いろいろあった3年間でしたね。この3年間に経験し

たことは間違いなく、あなたの血となり肉となって、見違えるくらい成長したよ。これからもいろいろなことを経験して、「大きな」人間になってください。

- ★授業や課題など大変そうに思いますが、楽しそうに通学している様子を見て素晴らしい学校に行っているんだなあと思います。一生付き合える親友に出会って、勉強だけでなく人生においても大切な時期を過ごしてほしいなあと思って応援しています。
- ★「思春期の息子」へ母の背を追い越し 背を向け「ウン」と君友と交わす笑顔でも嬉し
- ★周りがどうあれ、マイペースを貫く子…やきもきするばかりだけど、長い人生には必要な力ではあるのかも。ローは燃費も悪いし、そろそろクラッチ踏み込んでギアチェンジ…試みては？
- ★大きな目標であっても諦めずに自分に成しえない事は何人も成し得る事はできないと思って努力し夢をかなえて行って欲しいと思います。武田信玄が、為せば成る、為さねば成らぬ成る業を、成らぬと捨つる人の偉さ。という言葉を残しています。努力すれば出来る事であっても最初から無理だと諦めてしまい、人は夢を叶えられないのだと教えています。出来る事をやらずに終わる人生は歩んで欲しくありません。可能性の塊である君が夢を叶えていてくれる事を楽しみにしています。
- ★驚くほど早く過ぎた三年間でしたね。そしてそれ以上の速さで過ぎるであろうこれからの三年。広い視野と柔軟な心で周囲から学び、己で考え、「生きる力」を身につけて、充実した時間にして下さい。
- ★口数が少なく、熱い想いをたくさん持っているけれど内に秘めて表現することが、少なかったあなたが西大和学園へ通い、自ら前に出て積極的に行動するように、成長した事、本当に嬉しく思っています。常に目標を掲げてそれに向かい全力で努力し続ける姿は、キラキラと輝いていて頼もしく感じています。西大和学園の素晴らしい先生方たくさんの良い刺激をもらっている友達、先輩方に、感謝の気持ちを持ってあなたを誇りに思います。これからも、あなたらしく輝いて下さいね。いつも、応援しています。
- ★学年があがるごとに会話が少なくなり、さみしく思います。でも、朝出かける時だけは毎日欠かさず「いってきます」と、自分から言うてくれます。その元気な声に、元気をもらっているよ？
- ★心身ともに健康でいてくれること、支えてくれる方への感謝を忘れない人であること、それだけが私たちの願いです。
- ★学校から帰るなり、友達、先生の話ばかり。毎日、楽しく充実した学校生活なんだろうなあと思って安心して送り出していました。
- ★学校生活が楽しいといい続けた3年間。西大和を選んでよかった。あなたは、私の誇りです。
- ★そっと見守ることしかできないけれど、必ず見守っています。頑張りすぎないように頑張り！
- ★3年間あっという間だったね。部活も目一杯楽しんだね。3年前より一回りも二回りも大きくなった姿がとっても頼もしいです。
- ★いつもついつい言うさく言ってしまうのですが、高校生になったらあなたをもっと信頼し、忍耐を持って見守ろうと思います。これからも一緒に成長できたらいいね。ありがとう。
- ★大阪府北部地震の日、電車は止まり、あなたの行方が分からず、心配で堪らなかつた。発災から5時間後、あなたが天王寺駅から歩いて帰宅した時、とても安堵した事と、遅くなったことに驚いたのを覚えています。いろんな事を乗り越えて、親子で成長してきた3年間でした。
- ★あなたの笑顔は家族の宝です。その笑顔で人を幸せに、人の役に立つ人間になって下さい。

中学3年生の一筆啓上 「愛する家族」への短い手紙

ついこの間、中学に入学したかと思えば
あっという間にもうすぐ高校生になります。
家族への想いを綴ります。

- ☆いつも介護に仕事に勉強にいろいろ忙しい中、支えてくれて有難う。年々家を出る時間がはやくなって朝ははやくて忙しいのにいつもおいしいお弁当を作ってくれて有難う。ママの作ってくれるお弁当が1番好きです。イライラして当たってしまうことも多いのですが、いつも本当に感謝しています。
ママと話している時間はすごく楽しいです。これからも迷惑かけますが、これからもよろしくおねがいします！
- ☆家ではいつも生意気なことを言ったり、迷惑をかけてしまっていますが、心の中では感謝しています。毎日のお弁当や学費など、今の学校生活を送れているのはお父さんとお母さんののおかげです。本当にありがとう。
☆母さんは料理の天才だと思います。弁当はいつもおいしくてうれしいです。部活が色々大変だけど、今は楽しいです。
勉強ももっとがんばります。ありがとうございます。これからもよろしく。あと、絵日記がかわいいのが毎日楽しみです。
- ☆毎朝大変なのに、お弁当作ってくれてありがとう。弱音吐いたとき、相談乗ってくれてありがとう。いっぱい支えてもらってるな〜って最近すごく思います。今まで15年間、ありがとう！そしてこれからもよろしくね。
- ☆この西大和で友だちと生活する毎日は、本当に3150(サイコー)です。いつも夜寝るの遅くて怒られてるけど、これからはきっと改めます。Thank you very much for my mother
- ☆「ありがとうの想いを伝え」ても「ええじゃないか」！西大和の入学前、ちゃんと授業についていけるか「不安が募って」いた私をほげましてくれて、ありがとう。考査前、私の考査勉強で寝る時間を短くさせちゃってごめんさい。(先輩曰く、高校ではもっと大変になるらしいので、これからもよろしく願います。)考査の教科間違えて、「逃げたくなった朝も」「ダイヤモンド Smile」で送り出してくれてありがとう。
他にもいろいろあるけど、案外スペースが狭かったので、このくらいにしておきます。これからも、「感謝のころ忘れずに」がんばるね。
- ☆自分のしたい勉強を自分の好きなように、(たとえそれが大学入試に出ないことでも)やらせてくれて、そして良い刺激を周りからももらえる西大和の環境を考えてくれて本当にありがとう。
- ☆僕はよくできた息子ではありあせん。よくケンカもするし、怒られるし、それでも家に帰ればあなたがいて、毎日楽しくとても幸せです。勉強も得意じゃないし、運動もダメですが、家族に恵まれた自信はあります。これからも迷惑をかけますが、よろしく願います。愛してくれてありがとう。
- ☆いつも5時半に起きて朝早くからお弁当用意してくれてありがとう！！考査前も私がまだ夜？みたいな時間に起こしてくれてありがとう。家に帰ったらお疲れ様って労いの言葉をありがとう。いつも感謝でいっぱいです。あと私が働くまで10年弱？くらいよろしくね。
- ☆ほんまにありがとう。こんなにいい友達ばかりいる学校に行かせてくれて。最近はおんまケンカしてないけど、昔はけんかばかり無駄な時間すごさせてごめん。これからも頑張ります。
- ☆いつも本当にありがとう。疲れやすくて、いらいらす

ることも多いし、感謝の気持ちを伝えられなくてごめん
なさい。迷惑かけてばかりの私なのに支えてくれてあり
がとう。いつもお母さんのおいしいお弁当が1日頑張
られてます！これからもよろしくお願ひします。

☆毎日朝早く起きてくれてありがとう！お弁当は毎回同
じような気がするけど、それでも作ってくれてありが
う！これからも善処していきます。

☆今朝も少し自分の間違いを指摘されただけで怒ってす
ねる所、すごく若々しいなと思いました！いつまでも若
いお母さんでいてくれてありがとう！

☆いつもつかれて帰るので、感謝より文句の方が多くなっ
てしまうけど、本当は感謝してます。ありがとう。

☆毎朝早く起きて弁当作ってくれたり、忙しいのに自分
のことを一番に考えてくれる自慢の親です。いつも迷惑
ばかりかけているけど、親のおかげでこんなに楽しい生
活ができていますんだと思います。いつまでも元気でい
てください。本当にありがとう！

☆恥ずかしいことながら、毎朝起こしてくれてありが
う。目覚ましでもなかなか起きない僕を根気強く起こし
てくれてうれしかったです。高校からは手間をかけない
ように、自分で起きよう頑張ります！毎日、朝のわず
かな時間を惜しんで弁当を作ってくれてありがとう。感
想も言わずに食べてください、お弁当が毎日のエネルギ
ーの元でした。高校生活でも手間をかけますが、お弁当
を作してほしいです。

☆僕の何倍も大変だし、しんどいのに、いつも笑顔で元気
よく学校に送り出してくれて有難うございます。おかげ
で部活も勉強も友達と切磋琢磨して、がんばれます！！

☆毎日すごく忙しいのに私のことを気遣ってくれてあり
がとう。お母さんが頑張ってくれているから、私のこの
西大和生活とても楽しいです。昼食代もちゃんと出して
くれて助かっています。本当にありがとう！私も勉強頑
張ります！

☆これまでは色々心配させ続けてきたし、やりたいこ
とはなんでも応援してくれてありがとう。これからもが
んばるからよろしくお願ひします。

☆お弁当がいつもおいしくて、毎日昼休みの時間が楽し
みです。
私が好きな音楽のCDを借りてきてくれることも感謝
してます。二人とも大好きだ！！

☆いつもたくさん叱ってくれてありがとう！ママの手作
り弁当がほんまにうますぎてやばい！愛情しか感じひ
ん。朝はよおきてしんどいのに、夜まで毎日働いてるマ
マには感謝しかないわ。いつもネタで言ってるみたいな
感じになってるけど、ほんまにママ大好き！！勉強が
んばるね。

☆いつもいろいろ手伝ってくれてありがとう。「無理しな
い程度に手伝う」とか言ってるけど、無理してるように
思うんですが...定期考査前になって、学校に早く行く
ときも、早起きして弁当作ってくれたりとか...。あな
たたちのお陰で本当に最高の3年間を送ることができ
ました。本当に感謝してます。これからも長いつき合いに
なると思いますが、あらためてよろしくお願ひ致します。
これからは無理させないように頑張ります！！

☆母親というより友達と言った方がしっくりくるような
気がします。父親が単身赴任であり家に居られない中、
一人で全部やってくれているのには感服しています。こ
れからも、仲の良い友達っぽい関係性が続いて欲しいで
す。

☆いつも、私のことを応援してくれることに感謝してい
ます。
いつでも味方になってくれる人がいるのはとても重要
なことだと気づけました。ありがとうございます。

☆中学受験のときはさぼってばかりだった僕を応援して
くれたことには本当に感謝しています。これからは自分
の方で乗り越えてみせます！

☆塾時代から、毎日朝早く起きておいしいお弁当を作っ

てくれてありがとう。僕がどれだけ悪い点をとっても、
何も言わずに僕を信じて応援してくれてありがとう。僕
が西大和で勉強や部活も頑張っているのは、自分の力
ではなく、2人のおかげです。普段、言えないけど、本
当に感謝しています。これからもよろしくお願ひします。

☆日々、生活を支えてもらってありがとうございます。
これからも一緒にいてほしいです。

☆いつもおいしいお弁当ありがとう。クラブも勉強も頑
張ります！

☆毎日家族のために働いてくれたり、私たちの将来のこ
とについて自分のことのように真剣に考えてくれたりし
て、直接あまり言えてないけど、とても感謝しています。
ありがとう。

☆自分のしたい事や意見をいつも否定することなく、受
け入れてくれてありがとう。自分が選んだことに一生懸
命向きあいます。

☆いつも僕のしたいことを否定せず応援してくれること
に感謝しています。高校に入ってから頑張ります！

☆元々家も近くはないのに、考査前は学校で勉強するた
めに、もっと朝早くに出るからそれに合わせて早く起き
てお弁当作ったり、駅まで送ってくれたりしてくれてあ
りがとう！！その分ちゃんと勉強頑張ります！

☆西大和に中学三年間通わせてくれてありがとう！毎日勉
強や部活、通学と大変ですが、何不自由なく生活させて
もらっていることに感謝しています。本当にたのしくて
あつという間の三年間でした。家で文句を言うことも多
くなるかもしれないですが、これからお弁当とかいろ
いろとよろしくお願ひします！

☆いつも大変ご迷惑をおかけして本当に申し訳ありませ
ん。(色々)とても感謝しております。(全てにおい
て)15年間とおよそ10カ月間本当にありがとうございま
した。(色々)
あと何年かだと思いますが、迷惑をかけるかもしれま
せんけど、よろしくお願ひします。(切望)お世話になっ
ていることが多すぎるので、一つ一つ書き出すことが難
しいです。本当に感謝です。

☆ペンとかノート、そして卓球の服とかラケット。何も
言わずに、買ってくれてありがとう。今の充実した環境
はあたり前じゃないってこと、あなたのおかげででき
ているっていうこと。理解してます。感謝しています。こ
れからも、よろしくおねがいします。そして、がんばり
ます。

☆機嫌が悪くて目を合わせて「行ってきます」と言えな
い日もあるけど、毎日玄関まで「行ってらっしゃい」と
送り出してくれること嬉しく思っています。いつもあり
がとう！

☆今、西大和に通っていて楽しいと思えているのは、他
でもないお父さんお母さんや周りの環境があるからだ
と思います。高校生になってもよろしくお願ひします。い
つもありがとう。

☆どんな時も、そばで支えてくれてありがとう。これか
らは私も誰かを支えられるような人になれるよう頑張
るよ。

『信頼』第69号

発行 西大和学園友会

発行日 令和3年2月28日

印刷 令和3年2月28日

〒636-0082 奈良県河合町薬井295番地

TEL 0745-73-6565(代) FAX 0745-73-1947

西大和学園ホームページ

<http://www.nishiyamato.ed.jp/>

